

平成 27 年度

学 校 要 覧



〒098-2501 北海道中川郡音威子府村字音威子浜1-6-1 専修大学

TEL 01656-5-3044 3835

FAX 01656-5-3838

ホームページ <http://osoneppu.ac.h.server-shared.com/>

Eメール osoneppu@seigaku.ocn.ne.jp

〒098-2501 北海道中川郡音威子府村字音威子浜1-6-1 専修大学



目 次

校章・校歌	1
沿革の概要	2
北海道教育の基本理念	3
上川教育推進プラン・音威子府村教育目標	4
校訓・学校教育目標 重点目標 経営方針 教育課程編成の方針 指導上の重点項目	5
学校経営方針	6
学校経営シラバス	7
教育課程表 平成27年度入学者教育課程表 学年別教育課程表	8
組織及び構成 組織構成図 各種委員会の役割 教職員の構成 教職員一覧	10
生徒状況 生徒出身地別人数 生徒数 進路状況 卒業生総数 生徒会機構 部活動組織	12
日課表・各種団体	14
各分掌の計画 教務部 生徒指導部 進路指導部	15
学年・学級・学科経営計画 第1学年 第2学年 第3学年 工芸科	24
総合的な学習の時間全体計画	31
特別活動全体計画	32
学年別LHR活動年間指導計画 第1学年 第2学年 第3学年	35
道徳教育全体計画	38
高大連携教育計画	39
学校間連携教育計画	40
いじめ対策	41
校舎平面図・施設設備の概要	43
チセネシリ寮概要 寮生数 寮運営機構 寮平面図	44
安全計画と安全管理	45
年間行事計画表	49

校 章



音威子府村は馬鈴薯の名産地であることから、その葉の形を描き、三方に配してあらゆる方面に発展してゆくという意味をもたせた。

なかの文字は、音威子府の「音」の字を外側に書き、そのなかに「高」の文字を配した。

校 歌

作詞 鳥本 勇
作曲 浅井 昌明

てん ぼく の み ね あ い よ る は ざ い ま
 か っ こ う よ べ ば み ど り が こ た う
 わ か き い の ち の あ ふ る る ま ゆ に
 し ん り と せ い ぎ あ お ぎ て つ ど う た た え
 よ た た え よ あ あ わ が が く え ん

校 歌

作詞 鳥本 勇
作曲 浅井 昌明

- 一、天北の嶺 相寄る間
 かつこう呼べば 緑が応う
 若き命の 溢るる眉に
 真理と正義 仰ぎて集う
 讃えよ 讃えよ
 あ、我が学園
- 二、天塩の流れ 紫紺を映し
 白雲悠々 牧場のサイロ
 若き命の 高なる胸に
 自主と自由を あこがれ集う
 栄えあれ 栄えあれ
 あ、我が学園
- 三、六華かがやき 霧華きらめく
 平和の郷や 夢はるかなり
 若き命を 清らに寄せて
 友愛の手を むすびて集う
 麗わし 麗わし
 あ、我が学園

沿革の概要

- 25. 4. 1 北海道名寄農業高等学校音威子府分校として認可
- 25. 5. 10 開校式挙行
- 25. 10. 1 北海道名寄高等学校音威子府分校と改称
- 25. 12. 20 本校舎 (90.75㎡) 竣工
- 26. 9. 30 本校舎 (254㎡) 竣工
- 28. 2. 3 北海道音威子府高等学校と称す
- 28. 12. 30 本校舎2階 (72.6㎡) 増築竣工
- 29. 8. 1 北海道札幌南高等学校通信教育部委嘱校となる
- 30. 6. 1 定時制課程第一種高等学校に認可
- 32. 6. 1 北海道札幌南高等学校通信教育部地方協力校となる
- 33. 11. 14 本校舎2階 (181.5㎡) および玄関増築落成
- 35. 9. 12 創立10周年祝賀式典 (PTAよりグランドピアノ寄贈)
- 38. 4. 1 工業科目を採択、自動車一般の授業始める
- 38. 6. 22 工業実習室並びに公務補室竣工
- 38. 6. 30 自動車練習場設置
- 41. 8. 10 旧校舎2階建 (1,343㎡) 落成
- 43. 11. 8 屋内体育館 (735㎡) 落成
- 44. 12. 5 創立20周年記念祝賀式典
- 50. 3. 31 自動車一般の授業やめる
- 52. 12. 9 高校振興調査委員会発足
- 53. 4. 1 芸術として工芸、職業科目としてインテリア実習を採択
- 53. 5. 24 工業実習工場の改造によるインテリア実習室竣工
- 53. 6. 30 インテリア実習室竣工披露
- 54. 2. 5 「工芸クラブ・インテリア教室・地名調査部」の地域文化の発展に寄与した活動により「北海道知事賞」を受賞
- 54. 10. 15 寄宿舎 (チセネシリ寮) 落成、入寮式挙行
- 54. 12. 7 第1回木の手づくり展開催 [名寄]
- 55. 9. 27 創立30周年記念式挙行
- 55. 11. 14 第2回木の手づくり展開催 [旭川] [札幌] [名寄]
- 55. 11. 30 寄宿舎 (チセネシリ寮) 全館落成、124人収容
- 56. 6. 27 「第4回北海道青少年科学文化振興賞」を受賞
- 57. 2. 15 第3回木の手づくり展開催 [名寄]
- 58. 2. 3 第4回木の手づくり展開催 [名寄]
- 58. 11. 11 第5回木の手づくり展開催 [旭川] [名寄] [札幌]
- 58. 12. 9 村立全日制課程・工芸に関する学科、工芸科へ転換認可
- 59. 4. 1 同上発足 (1開口、定員45名)
- 60. 1. 21 第6回木の手づくり展開催 [名寄]
- 60. 12. 20 新校舎 (第1期工事) 完成
- 61. 1. 10 第7回木の手づくり展開催 [札幌]
- 61. 10. 25 新校舎上芸棟 (第2期工事) 完成、落成記念式典
- 62. 3. 10 全日制工芸科第1回卒業生
- 62. 3. 31 定時制課程閉課
- 63. 1. 7 第8回木の手づくり展開催 [札幌]
- 63. 2. 25 上川管内教育実践表彰を受賞
- 63. 11. 5 第9回木の手づくり展開催 [旭川]
- 63. 11. 30 チセネシリ寮学習室増築完成
- 2. 1. 8 第10回木の手づくり展開催 [札幌]
- 2. 5. 24 創立40周年記念 標本樹木植樹
- 2. 11. 14 第11回木の手づくり展開催 [旭川]
- 2. 12. 3 創立40周年記念 学校名標示塔建立
- 4. 1. 6 第12回木の手づくり展開催 [札幌]
- 4. 11. 18 第13回木の手づくり展開催 [旭川]
- 6. 1. 4 第14回木の手づくり展開催 [札幌]
- 6. 11. 15 第15回木の手づくり展開催 [旭川]
- 6. 12. 15 屋内体育館 (1003㎡) 改築落成
- 6. 12. 15 家庭科棟 (535㎡) 増築落成
- 7. 1. 20 情報機器21台導入
- 7. 9. 30 旧体育館跡地外構工事完成
- 8. 1. 8 第16回木の手づくり展開催 [札幌]
- 8. 9. 29 第17回木の手づくり展開催 [札幌]
- 9. 8. 13 第18回木の手づくり展開催 [旭川]
- 10. 10. 6 第19回木の手づくり展開催 [札幌]
- 11. 10. 6 第20回木の手づくり展開催 [札幌]
- 11. 10. 19 校訓披露式挙行
- 12. 10. 3 第21回木の手づくり展開催 [旭川]
- 12. 10. 28 創立50周年式典挙行
- 13. 8. 17 寄宿舎 (チセネシリ寮) 改修工事竣工
- 13. 10. 6 第22回木の手づくり展開催 [札幌]
- 14. 1. 11 村議会において、校名変更に関する条例案が可決
- 14. 3. 6 村議会において、女子寮増築可決
- 14. 4. 1 北海道おといねっふ美術工芸高等学校へ校名変更
- 14. 8. 18 女子寮増築落成
- 14. 10. 12 第23回木の手づくり展開催 [札幌]
- 15. 10. 11 第24回木の手づくり展開催 [札幌]
- 16. 2. 10 第53回全国高等学校スキー大会 総合優勝
- 16. 6. 28 第1回上川合同庁舎生徒作品展 [旭川]
- 16. 9. 24 第25回木の手づくり展開催 [札幌]
- 16. 10. 16 音威子府村100周年記念式典
- 16. 11. 5 産業教育フェア [札幌]
- 17. 2. 9 第54回全国高等学校スキー大会 総合優勝 2連覇
- 17. 6. 27 第2回上川合同庁舎生徒作品展 [旭川]
- 17. 10. 17 第26回木の手づくり展開催 [札幌]
- 18. 6. 26 第3回上川合同庁舎生徒作品展 [旭川]
- 18. 8. 14 第27回木の手づくり展開催 [札幌]
- 18. 10. 1 学校評議員会設置
- 19. 2. 22 上川管内教育実践表彰を受賞
- 19. 4. 1 国立教育政策研究所教育課程研究指定校 (H19・20年度)
- 19. 5. 18 高大連携事業調印式 (北海道東海大学)
- 19. 6. 25 第4回木の手づくり展旭川開催 [旭川]
- 19. 10. 15 国際理解教育 (留学生2名受入)
- 19. 10. 19 美術工芸教育実践研究発表会
- 19. 11. 5 第28回木の手づくり展札幌開催 [札幌]
- 20. 5. 17 国際理解教育 (生徒2名、教員2名派遣)
- 20. 6. 30 第5回木の手づくり展旭川開催 [旭川]
- 20. 7. 1 アジアプリントアドベンチャー壁画制作 [音威子府]
- 20. 8. 11 第29回木の手づくり展札幌開催 [札幌]
- 20. 10. 14 国際理解教育 (留学生2名受入)
- 20. 10. 14 スウェーデン レクサンド高校との姉妹校提携調印
- 20. 10. 25 NHK「新日本紀行ふたたび」にて全国放送
- 21. 2. 16 北海道教育実践表彰を受賞
- 21. 4. 1 国立教育政策研究所教育課程研究指定校 (H21・22年度)
- 21. 6. 24 第6回木の手づくり展旭川開催 [旭川]
- 21. 8. 1 情報機器42台導入
- 21. 8. 10 第30回木の手づくり展札幌開催 [札幌]
- 21. 9. 26 国際理解教育 (生徒3名派遣)
- 21. 11. 1 国際理解教育 (留学生2名受入)
- 21. 11. 2 音威子府パイパス着工記念碑除幕式
- 22. 3. 31 女子寮増築落成
- 22. 5. 4 国際理解教育 (生徒2名、教員1名派遣)
- 22. 6. 25 第7回木の手づくり展旭川開催 [旭川]
- 22. 8. 9 第31回木の手づくり展札幌開催 [札幌]
- 22. 11. 18 国際理解教育 (留学生2名受入)
- 23. 6. 24 第8回木の手づくり展旭川開催 [旭川]
- 23. 8. 8 第32回木の手づくり展札幌開催 [札幌]
- 23. 9. 11 国際理解教育 (生徒3名派遣)
- 23. 10. 20 国際理解教育 (留学生2名受入)
- 24. 4. 28 木の手づくり展東京開催 [東京]
- 24. 5. 7 国際理解教育 (生徒3名、教員1名派遣)
- 24. 6. 8 第9回木の手づくり展旭川開催 [旭川]
- 24. 8. 13 第33回木の手づくり展札幌開催 [札幌]
- 24. 11. 21 国際理解教育 (留学生2名受入)
- 25. 4. 1 国立教育政策研究所教育課程研究指定校 [工芸 I]
- 25. 6. 7 第10回木の手づくり展旭川開催 [旭川]
- 25. 8. 5 第34回木の手づくり展札幌開催 [札幌]
- 25. 9. 16 国際理解教育 (生徒3名、教員1名派遣)
- 25. 10. 20 国際理解教育 (留学生2名受入)
- 25. 10. 22 高大連携事業調印式 (東海大学国際文化学部)
- 26. 3. 28 女子寮増築落成
- 26. 4. 28 寄宿舎 (チセネシリ寮) 女子寮増築落成
- 26. 6. 16 第11回木の手づくり展旭川開催 [旭川]
- 26. 8. 4 第35回木の手づくり展札幌開催 [札幌]
- 26. 9. 15 国際理解教育 (生徒3名、教員2名派遣)
- 26. 11. 9 国際理解教育 (留学生2名受入)
- 27. 2. 10 第64回全国高等学校スキー大会 総合優勝 [秋田]

北海道教育の基本理念

自立 自然豊かな北の大地で、自立の精神にあふれ、夢や希望の実現に挑戦し、これからの社会を担う人を育む

共生 心豊かに、ともに支えあい、ふるさとに誇りを持つ人を育む

【基本目標】

基本目標 1 社会で生きる実践的な力の育成

- 生きる知恵につながる確かな学力を育み、自立した生き方を支える教育の推進
- 社会の変化に対応し、新しい時代を切り拓く力を育む教育の推進

基本目標 2 豊かな心と健やかな体の育成

- 豊かな人間性と感性を育む教育の推進
- 心身の健やかな成長を促す教育の推進

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進

- 魅力ある学校づくりの推進
- 教職員に対する信頼性の向上

基本目標 4 地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進

- 家庭の教育力の向上への支援の充実
- 地域で子どもたちを育てる環境づくりの推進

基本目標 5 北海道らしい生涯学習の実現

- 学んだ成果を生かす生涯学習の推進
- 潤いのある地域づくりをめざす社会教育の推進
- 文化・芸術活動の推進
- 健康づくり・スポーツ活動の推進

上川教育推進プラン

【推進のテーマ】

学び続け かかわり 高め合う 上川教育の躍動
(着実な実践・実績の検証・成果の実感)

【生きる力を育む教育の推進】

- I 社会で生きる実践的な力の育成
 - 1 確かな学力を育む教育の推進
 - 2 新しい時代を切り拓く力を育む教育の推進
- II 豊かな心と健やかな体の育成
 - 1 豊かな人間性と感性を育む教育の推進
 - 2 心身の健やかな成長を促す教育の推進

【学校・家庭・地域の教育力向上を図る取り組みの推進】

- III 信頼される学校づくりの推進
 - 1 教職員に対する信頼性向上
 - 2 魅力ある学校づくりの推進
- IV 地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進
 - 1 家庭の教育力の向上
 - 2 地域の教育力の向上

【上川らしい生涯学習社会の実現】

- V 北海道らしい生涯学習社会の実現
 - 1 生涯各期における学習活動の推進
 - 2 社会教育推進のための基盤整備
 - 3 芸術文化活動の推進

音威子府村教育目標

○たくましい身体と意志を育てよう

開拓者精神を受け継ぎ、ねばり強くやり抜く強い意志をもち、進んで健康と体力増進につとめ、明るく豊かな村づくりにはげむ村民の育成をめざす

○望ましい個性と豊かな人間性を育てよう

自ら学び、自主的、主体的に社会参加を行い、正しい判断のできる心豊かな村民の育成をめざす

○規律を守り勤労を愛する心を育てよう

きまりを守り、他人をいたわる心を育てるとともに、勤労の喜びを見出し、生きがいのある生活をつくりだす村民の育成をめざす

○自然を愛する心を育てよう

天塩川の恩恵に感謝し、森、川にかこまれた自然を愛する心を育て、住みよいまちづくりにはげむ村民の育成をめざす

○文化を高め郷土を愛する心を育てよう

先人の文化的遺産を受け継ぎ、芸術、文化を育み高める心を育て、地域から生まれる生活文化を向上させる村民の育成をめざす

校 訓

HEART
AND
CREATION
創造 自主 飛翔

学校教育目標

造形体験を重ね、
創造力を育成する

- 基礎基本を重視し、自ら学ぶ意欲を高める
- 個性を生かし、豊かな自己表現を目指す
- 自然に親しみ、情操を豊かにする

1 重点目標

- (1) 基本的な生活習慣の確立と学習習慣を定着させる。
- (2) 生徒一人ひとりの個性を生かした造形教育を推進する。
- (3) 学校生活・寄宿舎生活をとおして、キャリア教育を推進し社会性を育成する。
- (4) 魅力ある教育活動の発展充実を目指し研修や実践を推進する。

2 経営方針

- (1) 学校教育目標・重点目標を達成するための具体的方策を推進する。
- (2) 生徒一人ひとりの創造力を育てる造形教育の質の向上を図る。
- (3) 学校や寄宿舎での自主的活動を推進し、豊かな社会性を育てる。
- (4) 教職員の計画的な研修活動を推進する。

3 教育課程編成の方針

- (1) 工芸科としての特色ある教育課程を編成する。
- (2) 情操豊かな人格の育成を目指し、教科と特別活動等の調和のとれた教育課程を編成する。

4 指導上の重点事項

学習指導	(1) 生徒一人ひとりの実態に即した学習指導により、学力を向上させる。 (2) 多様な生徒に対応する教材の開発や指導方法・評価方法の工夫により、自ら学ぶ意欲を喚起し能力を伸ばす。 (3) 高大連携教育や国際理解教育の推進を図り、美術工芸教育・普通科教育を深化させる。 (4) 情報教育や図書教育の充実を図り、豊かな人間性を育成する。
生徒指導	(1) 全教職員の共通理解と実践により、基本的な生活習慣の定着を推進する。 (2) 地域の特色を生かした特別活動等の充実を図り、生徒の自主性や自律性を育成する。 (3) 教育相談活動を充実し、多面的な生徒理解を深め、問題の早期発見・対応を実践する。
進路指導	(1) 進路意識を高め、キャリア発達課題の達成を目指し自己実現に向けて努力する態度を育成する。 (2) 自己理解を深め、個性や能力・適性に応じて進路目標を設定する力を育成する。 (3) 個に応じた進路開拓や情報収集・発信を図り、進路実現を達成する。
健康・安全指導	(1) 保健教育活動を充実し、個々の生徒の状況を的確に把握し、生命を大切にし主体的に心身を鍛える生徒を育成する。 (2) 校内外の清掃美化や施設の保全を図り、快適な教育環境づくりを推進する。 (3) 全教育活動をとおして安全教育を徹底させ、適切な生活行動ができるよう指導する。

平成27年度 学校経営方針

生徒・保護者・村民・教職員がともに夢を語り、感動があふれる学校を創造する

夢を語り感動があふれる学校づくり

- 1 創作活動をとおして学ぶ意欲を高め、可能性を引き出し、伸ばし、確かな学力を育成する。
- 2 他を思い理解し、共に学び感動があふれる学校生活をとおして、豊かな人間性を育成する。
- 3 全道唯一の工芸科として、美術工芸の学びをとおした質の高い教育活動を推進する。
- 4 生徒・保護者・地域の信頼と期待に応える、地域に根差し開かれた学校づくりを推進する。

全道唯一の工芸科として教育活動の充実を図る

- 1 創造力を育成する質の高い美術工芸作品の制作
- 2 学ぶ意欲を高め個性や能力を伸ばす工芸・美術コース
- 3 他を思いやる心を育てる学校教育活動と寮生会活動
- 4 地域の自然や人々、木と触れあうことによる心豊かな人づくり
- 5 一人ひとりが主人公として活躍し自己表現力を育む教育活動
- 6 コミュニケーション能力や社会性を伸長する教育活動

創造力を育成し人間力を高める

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 魅力ある教育活動の推進<ol style="list-style-type: none">(1) 創造力を育成する教育活動の実践(2) 工芸と美術のコース選択による個性の伸長(3) 高大連携や国際交流による教育内容の充実(4) 21世紀型能力を育てる教育課程の研究2 個性を伸ばす学習指導<ol style="list-style-type: none">(1) 自ら学ぶ意欲を高める学習指導(2) 質の高い表現学習をとおした創造力の育成(3) 基礎的基本的な学力の定着を図る個に応じた指導3 心に響く生徒指導<ol style="list-style-type: none">(1) 自らを律する態度を育成する生徒指導(2) 教育相談による生徒理解の推進(3) 学校生活と寮生活の両輪による望ましい人間関係を構築する能力の育成(4) 生徒会と寮生会の活動による自主性の育成(5) 特別活動や部活動等による社会性の育成(6) 生命を尊重し健やかな心身を育成する健康安全指導4 未来を拓く進路指導<ol style="list-style-type: none">(1) 生徒の能力や適性に応じた進路指導(2) 自己理解や自己実現を達成する力の育成(3) 計画的系統的なキャリア教育の推進5 学校情報の積極的な発信<ol style="list-style-type: none">(1) Webページ等の充実による情報発信力の向上(2) 各種「たより」等による学校理解の推進(3) 学校案内、ポスター等の充実 | <ol style="list-style-type: none">6 学びの成果を発信する生徒作品の公開<ol style="list-style-type: none">(1) 「村の美術館」として校内生徒作品を公開(2) 「木の手づくり展」の充実発展(3) 村施設や村民文化祭等で生徒作品を展示7 地域と一体となった教育活動<ol style="list-style-type: none">(1) 「植樹祭」「村民運動会」「文化祭」等への参加(2) 授業や学校行事等の教育活動を公開し地域の教育力を活用(3) 小中高の連携した学びの充実(4) 「グリーンおといねっふ」「エコミュージアム」等でのボランティア活動(5) 北海道大学中川研究林との「森林探訪」の実施(6) 村内学校間での連携事業の工夫改善(7) 村内各スキー大会への支援や地域行事への参加8 教えるプロとしての教師力向上<ol style="list-style-type: none">(1) 磨きあい高めあい支えあう教職員集団(2) 校内研修会や公開授業による資質能力の向上(4) 校外各種研修会等の参加と情報の還元、共有(5) 村内教育推進協議会による研修の充実(6) 高大連携をとおした大学教員との専門的研修(7) 生徒、保護者、地域から信頼される教職員集団(8) 学校評価、授業評価、学校評議員会を踏まえた課題改善(9) 服務規律保持、危機管理の高揚に向けた研修9 特色ある教育活動の充実発展<ol style="list-style-type: none">(1) 東海大学との高大連携教育(2) スウェーデンとの国際理解教育(3) 全道唯一の工芸科による「人づくり」 |
|--|---|

平成27年度 学校経営シラバス

学校教育目標 造形体験を重ね、創造力を育成する 基礎基本を重視し、自ら学ぶ意欲を高める 個性を生かし、豊かな自己表現を目指す 自然に親しみ、情操を豊かにする	校 訓 HEART AND CREATION 創造 自主 飛翔
---	---

めざす学校像	めざす生徒像
1 生徒、保護者、地域、教職員に夢と感動があふれる学校 2 一人ひとりの可能性を限りなく伸ばし、進路が実現できる学校 3 地域に信頼され特性を活かしながら、確かな学力や豊かな人間性を育む学校	1 目標を持って、主体的に学び努力する生徒 2 夢を創造し、未来に向かって前進する生徒 3 生命や自然を愛し、豊かな心を持った生徒

領域	対象	中期目標	今年度の目標	目標達成のための評価の観点
教 育 活 動	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○全道唯一の工芸科として、教育課程の充実・発展 ○学ぶ意欲と基礎基本を重視した確かな学力の向上 ○個に応じた指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○興味関心を喚起し、学ぶ意欲を高める授業内容の工夫改善 ○基礎的基本的な学力の定着、個に応じた指導、発展的学習の充実、創造力を育成する美術工芸教育の質的向上 ○地域の特性を活かした魅力ある教育活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が意欲的に学んでいるか ○校内外の研修、授業評価等をとおして授業内容の改善が図られたか ○きめ細かい個に応じた指導が効果的に実践されたか ○基礎的基本的な学力の定着が図れたか、美術工芸作品の制作をとおして確かな学力が伸長したか ○地域と一体になって教育活動が進められたか
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣の確立と豊かな心の育成 ○社会性や規範意識に基づく、判断力、行動力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーション能力、社会性の育成に重点を置いた基本的な生活習慣の確立 ○自らを律し、他を思い理解する態度を養う指導 ○生徒主体の生徒会活動等の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校生活、寮生活で望ましい人間関係が構築できているか ○社会性が身に付き規律ある集団生活が行われたか ○生徒が積極的に参加する生徒会活動等であったか
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ○自己理解と勤労観・職業観の深化 ○自らの在り方生き方を求め自己実現を達成する力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育の推進による進路実現の充実 ○早期からの計画的な進路指導 ○資格取得の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的、職業的自立のための進路が決定したか ○1学年からの計画的系統的な進路指導が行われたか ○生徒が積極的に資格取得者に挑戦したか
	健康・安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ○心身の健康や安全に対する意識の高揚 ○環境美化やボランティア活動に積極的に参加する態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒理解の深化と教育相談の充実 ○安全教育の取組の徹底 ○環境美化意識の高揚と清掃活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりに目を向け適切な教育相談ができたか ○安全教育を効果的に実践し、生徒の危機管理意識が高まったか ○生徒が積極的に校舎内外の美化・清掃活動に取り組んだか
学 校 経 営	信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動の積極的発信と地域連携の充実 ○学校評価等を活用した教育活動の不断の改善 ○教職員の服務規律の保持、倫理観の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ○Web ページや学校だより等の充実と学校理解の推進 ○学校評価等による課題の明確化とPDCA サイクルによる改善 ○保護者、地域、学校の連携の強化 ○教職員の教育公務員としての自覚の高揚 	<ul style="list-style-type: none"> ○Web ページ等で積極的に教育活動の情報発信を行い、保護者や地域、中学生等の学校理解が深化したか ○学校評価や学校評議員会が学校改善に生かされたか ○保護者や地域等との連携が強化したか ○教育公務員としての社会的責任を教職員が自覚したか
	組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ○学校課題の明確化・共有化 ○課題解決に向けた組織的な協働体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ○報告・連絡・相談体制の機能徹底 ○PDCA サイクルの効果的な活用 ○危機管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動全般に渡り教職員が連携したか ○前例踏襲に陥らずに各取組が改善に向かったか ○危機管理マニュアルが整備されたか
	教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ○専門性と資質能力の向上 ○教職員の健康増進 ○共に学び合う教職員集団 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業力、生徒指導力の向上と専門性の深化 ○超過勤務の縮減と健康管理体制の確立 ○校外研修の伝達、校内研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業改善や実践力が向上したか、教科の専門的スキルが高まったか ○個々の教職員が業務の効率化を図ったか ○教職員間がコミュニケーションを図り、個々の教職員の協働意識が向上したか

教育課程表

1 平成27年度 入学者教育課程表

教科	科目	標準単位数	1年	2年		3年	
			共通	工芸	美術	工芸	美術
国語	国語総合	4	2	2	2		
	国語表現	3				3	3
地理歴史	世界史A	2				2	2
	地理A	2		2	2		
公民	現代社会	2	2				
数学	数学I	3	2	2	2		
	数学A	2				2	2
理科	化学基礎	2	2				
	生物基礎	2		2	2		
	地学基礎	2				2	2
保健体育	体育	7~8	2	2	2	3	3
	保健	2	1	1	1		
芸術	美術I	2	2				
	工芸I	2	2				
外国語	コミュニケーション英語I	3	2	2	2		
	英語表現I	2				3	3
家庭	家庭基礎	2	2				
情報	社会と情報	2		2	2		
工業	工業技術基礎	2~4	4				
美術	素描	2~6			1		1
	絵画	2~4			3		
芸術	美術研究○	4					4
工芸	図法・製図○	5	1	2	2	2	2
	木材理論○	1	1				
	木工制作I○	3	3				
	木工制作II○	6		6	6		
	インテリア史○	1		1	1		
	工芸制作○	4		4			
	課題研究○	6				6	6
	工芸研究○	5				5	
小計			28	28	28	28	28
総合的な学習の時間			1	1	1	1	1
ホームルーム活動			1	1	1	1	1
合計			30	30	30	30	30

※「○」を付した科目は学校設定科目である。

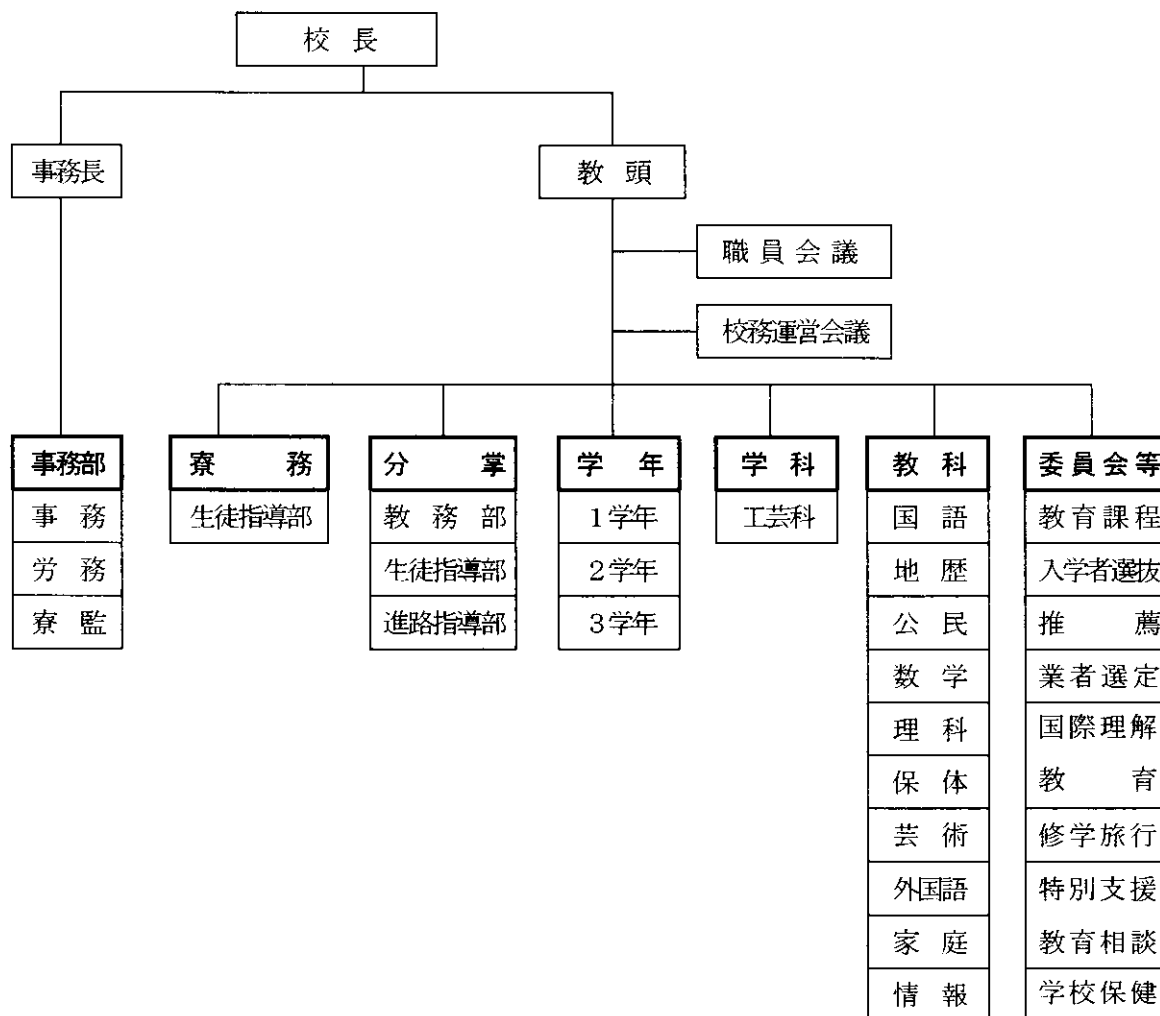
2 平成27年度 学年別教育課程表

教 科	科 目	標準単位数	1年	2年		3年	
			共通	工芸	美術	工芸	美術
国 語	国語総合	4	2	2	2		
	国語表現	3				3	3
地理歴史	世界史A	2				2	2
	地理A	2		2	2		
公 民	現代社会	2	2				
数 学	数学Ⅰ	3	2	2	2		
	数学A	2				2	2
理 科	化学基礎	2	2				
	生物基礎	2		2	2		
	地学基礎	2				2	2
保健体育	体 育	7~8	2	2	2	3	3
	保 健	2	1	1	1		
芸 術	美術Ⅰ	2	2				
	工芸Ⅰ	2	2				
英 語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	2	2	2		
	英語表現Ⅰ	2				3	3
家 庭	家庭基礎	2	2				
情 報	社会と情報	2		2	2		
工 業	工業技術基礎	2~4	4				
美 術	素 描	2~6			1		1
	絵 画	2~4			3		
芸 術	美術研究	○ 4					4
工 芸	図法・製図	○ 5	1	2	2	2	2
	木材理論	○ 1	1				
	木工制作Ⅰ	○ 3	3				
	木工制作Ⅱ	○ 6		6	6		
	インテリア史	○ 1		1	1		
	工芸制作	○ 4		4			
	課題研究	○ 6				6	6
	工芸研究	○ 5				5	
小	計		28	28	28	28	28
総合的な学習の時間			1	1	1	1	1
ホームルーム活動			1	1	1	1	1
合	計		30	30	30	30	30

※「○」を付した科目は学校設定科目である。

組織及び構成

1 組織機構図



2 各種委員会の役割

委員会名	役割	主管
教育課程	教育課程の点検、改善を審議	教務
入学者選抜	入学者選抜における原案作成や準備業務	教務
推薦	就職・進学に関して推薦要件の確認、選定	進路指導
業者選定	公正・適正な業者見積の選定	事務
寮と学校の情報交換	学校と寮職員との生徒情報の交換	生徒指導
国際理解教育	国際理解教育の方針、派遣選考、受入対応、諸準備	教務
修学旅行	宿泊研修及び見学旅行の計画、役割分担等	教務
特別支援・教育相談	発達障害や精神面での支援が必要な生徒への対応検討	生徒指導
学校保健	心身の健康を守り、安全・安心の確保づくりの推進	生徒指導
学校情報	校内情報施設、設備、備品、システムの管理と運用	教務
いじめ対策	学校における健康課題の研究協議、健康づくりの推進	生徒指導

3 教職員の構成

校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	事務長	事務生	公務補	寮監	寮監補	寄宿舎指導員	寮職員	賄管理人	計
1	1	12	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	25

4 教職員一覧

職名	氏名	担当教科	校務分掌	発令年月日
校長	小幡圭二			H26.4.1
教頭	西後勝美			H27.4.1
教諭	棚橋栄治	保健体育	教務部・1学年付・舎監	H21.4.1
〃	大木民郎	芸術(舞・芸)	生徒指導部長・2学年付・舎監	H23.4.1
〃	福澤 等	芸術(舞・芸)	進路指導部長・3学年付・舎監	H23.4.1
〃	野村幸伸	芸術(舞・芸)	進路指導部・工芸科長・3学年付・舎監	H10.4.1
〃	吉田香織	外国語	進路指導部・3学年正担任・舎監	H23.4.1
〃	池田教朗	数学・情報	教務部・1学年正担任・舎監	H25.4.1
〃	林 一浩	理科・家庭	教務部・2学年副担任・舎監	H27.4.1
〃	川添龍一	芸術(舞・芸)	教務部長・2学年付・舎監	H24.4.1
〃	川崎さつき	芸術(舞・芸)	教務部・3学年副担任・舎監	H27.4.1
〃	碓矢真由	国語	教務部・2学年正担任・舎監	H25.4.1
〃	土井佑弥	地歴・公民	生徒指導部・3学年付・副舎監長	H27.4.1
〃	押見栞奈	芸術(舞・芸)	生徒指導部・1学年副担任・舎監長	H26.4.1
養護教諭	南波李佳		生徒指導部・1学年付・副舎監長	H25.4.1
実習助手	澤口将達		教務部・1学年付	H27.6.1
A L T	マゼリン・メリー			H26.9.1
事務長	山崎彰俊			H27.4.1
事務生	横山康子			H25.4.1
公務補	辻本博美			H23.4.1
寮監	永井満			H23.4.1
寮監	北原貴志			H26.4.1
寮監補	今井良一			H18.4.1
寄宿舎指導員	執行伸枝			H18.4.1
寮職員	神野隆敏			H23.11.1
賄管理人	池田嘉夫			S57.4.1
校医	三好義範			H25.4.1
歯科医	松尾徹也			H24.9.1

生徒状況

1 生徒出身地別人数 (平成27年4月9日現在)

	1年		2年		3年		管内		
	男	女	男	女	男	女	管内名	男	女
札幌市	4	5	2	4	5	4	石狩	12	19
当別町		1							
江別市		1		1		2			
千歳市						1			
北広島市									
恵庭市			1				渡島		1
函館市						1	後志		2
赤井川村				1			檜山	1	
余市町				1					
せたな町			1				空知	3	2
岩見沢市		2							
長沼町			1		1				
沼田町					1				
旭川市	5	1		4	3	3	上川	16	15
鷹栖町			1						
美瑛町	1		1						
中富良野町			1						
上富良野町		2							
東川町		1							
東神楽町				1					
剣淵町					1				
愛別町	1								
美深町			1						
士別市				1					
名寄市				1	1	1			
天塩町					1	1	留萌	1	1
稚内市		1					宗谷	1	6
猿払村						1			
中頓別町	1					1			
幌延町				1					
枝幸町		1		1			オホーツク	2	2
置戸町						1			
湧別町			1						
雄武町			1						
斜里町				1			胆振		1
苫小牧市				1					
標茶町		1					十勝		5
池田町		1		1					
清水町				1					
浦河町				1					
釧路市				1		1	釧路		3
浜中町						1			
根室市						1	根室		1
山形県			1				道外	10	8
新潟県			1						
長野県						1			
群馬県			1						
埼玉県					1				
東京都	1	2		1	2				
神奈川県	1		1						
京都府		1							
大阪府		1							
愛知県		1							
兵庫県		1							
山口県			1						
大分県		1							
合計	14	23	16	23	16	20		112	

2 生徒数（平成27年4月9日現在）

	1年	2年	3年	合計
男子	14	16	16	46
女子	23	23	20	66
合計	37	39	36	112

進路状況

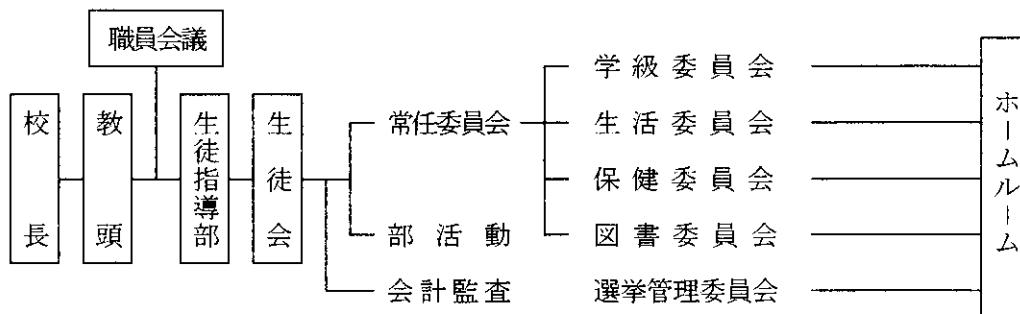
（平成17年度卒業生以降）

年 度		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
進 学	四年制大学	6	10	7	10	8	11	17	14	14	13
	短期大学	2	3	3	0	2	2	2	2	0	1
	各種学校	12	7	9	10	17	10	9	12	14	14
	その他	0	0	0	0	2	2	2	4	0	0
	未定										1
	(小計)	(20)	(20)	(29)	(20)	(29)	(25)	(30)	(32)	(28)	(29)
就 職	木材・工芸関係	0	3	3	1	2	2	3	0	1	2
	販売・製造等	3	1	0	1	2	4	2	3	0	0
	公務員（含自衛隊）	1	0	0	1	0	1	1	2	2	3
	サービス・飲食店関係	4	1	0	1	0	2	0	0	3	1
	福祉施設関係	1	0	0	1	0	1	1	0	1	0
	運輸業	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	その他	1	3	0	1	2	1	1	1	0	1
	未定	0	1	2	5	0	0	2	1	2	1
	(小計)	(11)	(9)	(5)	(11)	(6)	(11)	(10)	(7)	(10)	(8)
合計	31	29	24	31	35	36	40	39	38	37	

卒業生総数

男子1,023名 女子549名 合計1,572名（平成27年3月1日現在）

生徒会機構



部活動組織

	アバンス	加サントリー	バドミントン	軽音楽	美術	工芸	家政	文芸	計
男	3	7	4	7	12	9	1	3	46
女	5	3	1	8	23	11	12	3	66
計	8	10	5	15	35	20	13	6	112

日課表

職員出勤	～ 8:00
職員打合せ	8:00～ 8:15
S H R	8:15～ 8:30
第1校時	8:35～ 9:25
第2校時	9:35～ 10:25
第3校時	10:35～ 11:25
第4校時	11:35～ 12:25
昼休み	12:25～ 13:10
第5校時	13:10～ 14:00
第6校時	14:10～ 15:00
S H R	15:00～ 15:10
清掃活動	15:10～ 15:30
部活動	15:30～ 17:30
生徒下校	～ 17:40
職員退勤	16:30～

各種団体

1 父母と教師の会役員

会長：志村 正美
 副会長：渡邊 智子・大田 喜美紀・黒川 浩・西後 勝美
 計監：山崎 彰俊
 庶務：棚橋 栄
 査問：黒川 浩
 顧問：大竹 政美・小幡 圭二

2 体育文化振興会役員

会長：川村 隆子
 副会長：渡邊 智子・大田 喜美紀・黒川 浩・西後 勝美
 計監：山崎 彰俊
 庶務：棚橋 栄
 査問：黒川 浩
 理事：大河上 實・小幡 圭二
 大竹 政美・石田 康幸・玉田 敬・長野 武一・西山 容子

3 同窓会役員

会長：大竹 政美
 副会長：石田 康幸・玉田 敬
 書記：長野 武容
 計監：西河内 敬
 査問：中野 将達
 校務局長：澤口 康幸
 学連事務員：石田 勝人・高橋 享一・丹 義光・池端 友博・布施 孝敏
 福井 百合・井川 佳子・佐々木 健太・舟山 宏樹
 良田 小基・伊勢 尚記・紺野 薫・友重 圭司・松倉 奈美
 広川 雄香・栗原 健志・森 皓・古西 麻里・鈴木 伊藤 聖一
 吾子 将壽・高澤 木謙也・足立 慶 勇 瑞 樹 悠
 千原 優奈・李 彩

各分掌の経営計画

教 務 部

1 活動目標

校務の円滑な運営を行うとともに、学校業務のスリム・健全化を推進する。

2 今年度の重点課題

- (1) 生徒の学力向上
 - ・ 高大連携、国際理解教育、学校間連携、地域交流等を効果的に活用した学びの場の設定
 - ・ 生きる力を育てる、本校独自の系統的カリキュラムの構築
 - ・ 一人ひとりに即した教育の提供（TTの工夫、言語活動の充実、指導と評価の一体化の推進）
- (2) 教務的・総務的業務の円滑な遂行、及び校務のスリム化
 - ・ 校務運営システムを活用した校務・教務の推進
 - ・ 各種委員会及び分掌業務等の整理と推進
- (3) 実態に即した、戦略的な生徒募集の展開
 - ・ 「生徒の育ち」、「本校ならではの学び」を紹介
 - ・ Web ページ、ブログ、パンフレット等での本校の学びの見える化
 - ・ 木の手づくり展等における「作品展示」から「学びの展示」へ

3 課題解決の方策

- (1) 諸活動の効果検証活動を行う。
 - ・ 「学びの系統性」を意識し、目標を明確化して実施する。
 - ・ 効果的な配列を考慮し、行事等の整理推進
 - ・ 観点別評価を意識した教育活動の展開、及び指導と評価の一体化によるマネジメントサイクルの運用
- (2) 校務運営システムの稼働（人員の整備）
 - ・ 校内研修会の実施による校内の問題点の共有化
 - ・ 教務部から改革の実行
- (3) 取り組みの検証作業
 - ・ 校内研修会による生徒募集の在り方提示と方針の共有化
 - ・ 学校評議員等からの助言をもとにした改善策の推進
 - ・ 機動性を重視した取り組み

4 分掌構成・業務分担・各種委員会

委 員 会 名	教務主担当者			総務主担当者			主 管
	主任 川添	碓矢	川崎	棚橋	林	池田	
校務運営会議	○						教頭
教育課程委員会	◎	○					教務部（教務）
推薦委員会	○						進路指導部
国際理解教育委員会			◎			●	教務部（教務）
修学旅行委員会				◎			教務部（教務）
教育相談委員会							生徒指導部
入学者選抜委員会	◎		○				教務部（教務）
業者選定委員会	○						事務長(校務運営会議)
特別支援教育委員会				●			生徒指導部
学校保健委員会				●			生徒指導部
学校情報委員会					◎	●	補助 教務部（総務）
いじめ対策委員会	○						教頭

◎：委員のとりまとめ役 ○：分掌から選出する委員 ●分掌以外で割り当たった委員

5 業務一覧表

※太字が主管・主担当

業 務		担当者	主な業務	他分掌等との関わり
教務	総括庶務	主任 主任・他 教頭・主任 主任 主任 主任 主任・川崎 主任 主任	作成指示、点検 転出入、証明書発行等 規程の運用、細則整備	工芸科との連動 ○教育課程委(主任+碓矢) 工芸科との連動 校務運営会議との連動 ○推薦委・業者選定委・ いじめ対策委・学校評 議員会(主任)
	学習指導庶務	碓矢・主任 碓矢・主任 川崎・主任 碓矢・川崎 碓矢・川崎 主任・碓矢 碓矢・川崎 碓矢・川崎	研修・学力向上対策総括 (キャリア計画を元に) 考査出題内容研修会 (キャリア計画を元に) 校務支援システムを使用	※前期中間考査終了後
	時間割	主任・川崎 川崎・碓矢 川崎・碓矢	基本時間割 週時間割・時数統計	
	研修	川崎・主任 主任・川崎 主任・棚橋	校内外研修・初任者研	※研究指定校事業等
	入学者選抜	推薦入試・一般入試・二次募集	主任・川崎・碓矢・ほか	○入学者選抜委(主任川崎)
総務	庶務	主任 主任・棚橋 棚橋・主任 棚橋・林 棚橋・主任	校務整理・改善 議題整理 入学・卒業式、始終業式 職員室机ロッカーの配置	○校務運営会議 ○校務運営会議
	生徒募集	碓矢・主任 碓矢・主任 林・池田・主任	ガイダンス資料、要項 HP、ブログ、パンフ更 新	工芸科との連動 工芸科との連動 ※学校情報委員会
	特色ある取組	碓矢・主任 川崎・棚橋・主任 碓矢・主任	デザインスクール 選考・派遣・受入 宿泊研修・見学旅行	工芸科との連動 ○国際理解教育委(川崎) ○修学旅行委(棚橋)
	渉外・PTA	棚橋・池田 棚橋・池田 林・池田 棚橋・主任 棚橋・主任	連携事業の調整・古紙回収等	生徒指導部との連動 工芸科と調整し進める
	校務支援システム 校内情報管理	林・主任 林・池田 池田・林 林・澤口	支援システムの基本設定 書籍購入、蔵書管理 とコメントスキヤキ係	○学校情報委(林) 生徒指導部(図書委員会)

6 年間計画

月	共通の会議・行事等	教務的業務	総務的業務
前期	4 年度初職員会議 校務運営会議、職員会議 →「生徒募集指針」決定 →教育課程委員会(方針)	入学者選抜結果状況報告 基本時間割作成、シラバス原稿メ LHR計画、道徳教育計画 特別活動・総合的な学習の時間計画 新入生オリエンテーション ガイダンス、学力実態調査 CD表・学校目標提出 シラバス作成・教育計画作成	前期始業式、入寮式 入学式 、PTA・体文総会 見学旅行結団式 生徒募集年間計画・実施要項 年間行事計画確定 見学旅行 全校集会(GW前) 発送文書とりまとめ(地区懇文書)
	5 校務運営会議・職員会議 第1回入学者選抜委員会 教育課程委員会	学校要覧・教育計画発行 中学校訪問実施要項 (教育実習～6月)	全校集会(GW明け) 生徒募集資料準備 地区別懇談会準備
	6 校務運営会議・職員会議 学校教育指導(1次) 教育課程委員会	中学校訪問準備 コース選択ガイダンス 前期中間考査	宿泊研修 地区別懇談会 木の手づくり展(旭川)

		教務主導：考査出題内容研修会（5教科） 授業改善研修会実施（校内研修）	生徒募集パンフレット発行 学校祭宿泊とりまとめ開始
	7 校務運営会議・職員会議	単票提出、一覧表提出 成績会議資料作成 成績会議 中学校訪問準備 教科書採択	クリーンおといねっぷ 村民運動会 木の手づくり展準備 学校祭保護者懇親会 全校集会（夏休み前） 発送文書とりまとめ
	8 校務運営会議・職員会議	中学校訪問（札幌・札幌郊外） コース選択希望調査	学校案内資料送付準備 一日体験入学実施要項 木の手づくり（札幌） 全校集会（夏休み明け） 占紙回収
	9 校務運営会議・職員会議 中間反省会議（分掌打合） 中間反省会議	中学校訪問 前期末考査 単票提出、一覧表提出 成績会議資料作成、成績会議 成績不振者・欠席超過者指導	高大連携教育（イザイスク） 学校案内送付 一日体験入学準備 地区別懇談会実施要項
後 期	10 校務運営会議・職員会議	入学者選抜要項作成	国際理解教育生徒派遣 発送文書とりまとめ（地区懇文書） 全校集会（前期終業式・後期始業式） 地区別懇談会準備 一日体験入学
	11 学校教育指導（2次） 校務運営会議・職員会議	（教育実習） 後期中間考査 第2回入学者選抜委員会	地区別懇談会 国際理解教育帰国報告会
	12 校務運営会議・職員会議	単票提出、一覧表提出、成績会議資料作成 入学者選抜業務 成績会議 欠時超過者補充 準教科書・副教材採択	全校集会（冬休み前） 発送文書とりまとめ
	1 校務運営会議・職員会議	入学者選抜業務 学年末考査（3学年）	卒業式実施要項 全校集会（冬休み明け） 年間行事計画作成準備
	2 校務運営会議・職員会議 年度末反省会議 学校評議員会 入学者選抜（推薦）	単票提出、一覧表提出（3学年） 成績会議資料作成、 卒業認定会議 入学者選抜業務 学年末考査（1・2学年）	卒業式案内発送（3学年） 卒業式準備、卒業式予行 PTA文体役員会 全校集会
	3 校務運営会議・職員会議 入学者選抜（一般） 入学者選抜（二次募集）	入学者選抜業務 単票提出、一覧表提出 成績会議資料作成 進級認定会議 成績不振者・欠時超過者指導 諸表簿・指導要録等点検（3年） 学年末時数統計処理 A・B表提出、指導要録点検（1・2年）	卒業区書授与式 高大連携教育 新年度年間行事計画 入学式実施要項 修了式 発送文書とりまとめ（1・2年）

7 達成目標（評価の視点）

（1）教務的側面

- ・ 新カリキュラムを構築できたか
- ・ 学校教育における行事の位置づけを明確にしたか
- ・ 反省会議を踏まえた改善が図れたか

（2）総務的側面

- ・ 校務支援システムを稼働させたか
- ・ 教職員で問題を共有し、校務組織の改革を進めたか
- ・ 実態に即した募集活動を行うことが出来たか

生徒指導部

1 活動目標

- (1) 生徒の安全と基本的生活習慣の定着を図り、健康な学校生活を育成する。
- (2) 主体的で自律的な生徒活動、寮生活を育成する。

2 今年度の重点課題

- (1) 安全で健全な生活の育成、基本的生活習慣の定着。
 - ・ 規範意識と向上心、社会人の基礎力としての社会性の育成。
- (2) 多面的な生徒理解を深める。
 - ・ カウンセリング機能、生徒対話の強化。
 - ・ 校内外での生活、学習、心身の健康状態の理解と、教職員間の情報共有。
- (3) 主体的、自律的な生徒活動の保証。
 - ・ 主体性、責任、自律を目指した生徒会活動、寮生会活動の育成。
 - ・ 計画と達成像の明確化。

3 課題解決の方策

- (1) 各レベルの規則、指導方針、目指す姿を明示し、生徒間に理解を進める。
 - ・ 集団生活規範と個人の希望を峻別して意識させる。
- (2) 業務整理に取り組み、生徒対話を深める。
 - ・ さまざまな場面での生徒観察、情報、指導計画を発信し共有する。
- (3) 逐次分掌部会をもち情報共有と意見交換、改善案の検討を進める。
 - ・ 諸活動それぞれの活動計画を把握し、内容の相互理解を進める。

4 分掌構成・業務分担・各種委員会

係	業務内容	大木	南波	押見	土井
庶務	年間計画と個別計画の作成、校外関係機関との連携、生徒指導心得の作成、オリエンテーション	◎			
生活指導	校内外における基本的な生活態度・週刊の育成、生徒心得の指導と検討、非行事故の未然防止指導、巡視指導の計画	◎	○	○	○
	薬物乱用防止・交通安全・防犯指導（講座）の企画	◎			○
	ネットモラルおよび携帯電話マナー教室の企画				
保健環境	学校保健安全指導の計画作成、校内外の清掃と清掃計画の指導		◎	○	
特別支援	音威子府村教育推進協議会特別支援部会への参加		◎		
生徒会指導	生徒会執行部指導、部活動の企画推進指導、生徒会活動の企画実施指導	○			◎
	保健委員会 ； 保健委員会の指導		◎		○
	生活委員会 ； 生活委員会の指導	◎			○
	図書委員会 ； 図書委員会の指導		吉田先生へ依頼		○
寮務	寮にかかわる事項※別項		○	◎	○
特別	入学者選抜委員会		○		
	国際理解教育委員会			○	
	修学旅行委員会	○			
	特別支援教育相談委員会	○	☆	○	
	学校情報委員会				○

5 年間計画

	月	共通の会議・行事等	生活・特別支援	生徒会指導	保健環境	寮務
前期	4	年度初職員会議 校務運営会議・職員会議	身だしなみ点検/ オリエンテーシ ョン/校内巡視開 始	対面式	定期健康診断/ 始業前大掃除/ 見学旅行前健康相 談(3年)	入寮式/オリエン テーション
	5	校務運営会議・職員会議 第1回入学選抜委員会 教育課程委員会	身だしなみ点検/ スクールカウ ンセラー来校(以 後毎月)	生徒総会/高体連 壮行会	定期健康診断/ 宿泊研修前健康相 談(1年)	春季休業/新入生 歓迎会
	6	校務運営会議・職員会議 学校教育指導(1次) 教育課程委員会	夏服/クリーンお といねっぶ①	学校祭準備/(生 徒総会)	歯の衛生週間	3年生寮生レク/ 2年生寮生レク
	7	校務運営会議・職員会議	交通安全・防犯 ・薬物乱用防止 講話	学校祭	クリーンおとい ねっぶ/休業前大 掃除	第1回匠号バス ツアー/夏季休業
	8	校務運営会議・職員会議	身だしなみ点検/ クリーンおとい ねっぶ②			夏季休業(帰寮)
	9	校務運営会議・職員会議 中間反省会議(分掌打合) 中間反省会議		役員選挙	デザインスクール 前健康相談(3年)/ 競歩前健康相談	1年生寮生レク/ 避難訓練
後期	10	校務運営会議・職員会議	身だしなみ点検 (冬服期間)		目の愛護デー	秋季休業/ 留学生歓迎式
	11	学校教育指導(2次) 校務運営会議・職員会議				寮生総会/第2回 匠号バスツアー/ 寮祭
	12	校務運営会議・職員会議	自動車免許取得 のガイドライン	体育祭	休業前大掃除/工芸 棟大掃除/赤ちゃん とのふれあい体験 学習(3年)	寮生会役員選挙/ 冬季休業
	1	校務運営会議・職員会議	身だしなみ点検	次年度学校祭準 備	性教育講話(2年)	冬季休業(帰寮) /3年生を送る会
	2	校務運営会議・職員会議 年度末反省会議 学校評議員会 入学者選抜(推薦)	スクールカウ ンセラー来校③		入選前大掃除/卒業 式前大掃除	家庭学習(3年 生帰省)
	3	校務運営会議・職員会議 入学者選抜(一般) 入学者選抜(二次募集)	身だしなみ点検	卒業生教室装飾	年度末大掃除	学年末休業(帰 省)

6 達成目標(評価の視点)

- (1) 生活・特別支援
 - ・ 基本的な生活習慣の改善ができたか。重点：忘れ物、朝食、ネットトラブル。
 - ・ 教員間の情報と指導意識の共有ができたか。
- (2) 生徒会指導
 - ・ 学校祭計画の早期検討、生徒会執行部役員の役割の検討ができたか。
 - ・ 会計の明確化ができたか。
- (3) 保健・環境
 - ・ 生徒が主体的な健康管理、安全に努める姿勢を育成できたか。
 - ・ 生徒が主体的に清掃に取り組み、環境衛生の意識を向上できたか。
- (4) 寮務 別紙

7 各業務の具体

- (1) 部活動
 - ・ 原則的に1年の通年加入。3年間を通じて活動できるのが望ましい。
 - ・ 変更は原則的に年度始めに行い、それ以外は高体連や楽器の変わり目などの節目に、関係各所相談の上で行う。
 - ・ 活動時刻は15:30~17:30とし、時間外、休日の活動については職員室及び寮に時間外活動の届を書き、周知する。
 - ・ 部活動の休日活動など特別活動指導の手当てについては事務から案内される。
 - ・ 活動教室の管理責任は顧問が負い、鍵の開閉も同様に顧問が行う。

- ・ 日常的に活動場所の清掃（掃除）、整理（ゴミ、不用品）、整頓（物品の片付け）を指導する。
- ・ 部費、遠征費などについては生徒総会で決定する。

部名	顧問	場所	部名	顧問	場所	部名	顧問	場所
アルペン	池田	1年HR	美術	福澤	造形室	文芸	吉田	図書室
スキー	林	屋外		川崎		組立室	軽音楽	大木
クロスカントリー スキー	棚橋	XC施設 屋外	工芸	川添	野村 押見 澤口		家政	南波
バドミントン	碓矢 土井	体育館 2年HR						

(2) 巡視、点検作業

服装・髪型点検…生徒指導部が担当して指導する。
 ・ 帰省明け後の集会で全教員が点検をする。
 ・ 帰省明け後のHRで生徒指導部教員が点検し、適宜その場で指導する。
 ・ 上記2点の観察・指導結果を生徒指導部長が集約し、学級担任と指導を相談しながら事後指導する。
 H27年度の懸念されるポイント
 ・ 頭髪の長さ、加工等細かい点での見過ごし
 ・ 校章のバッヂやボタンの汚れなどを保護者が把握していないことへの危惧
 ・ 制服の不備、ほつれなど
 → 小さなことでも学級担任と全教員が連絡、相談

登校時巡視
 ・ 朝の教員打合せ後～08:15まで（交差点付近～寮まで右表参照）
 ・ 学級担任はHR内、学年担任はチャイム席指導など、分担で適宜行動する。
 ・ 悪い点があればその場で声をかけて直させるが、小さなことでもすぐに生徒指導部へ報告相談する。
 H27年度の懸念されるポイント
 ・ 体育館横などからのショートカットをする生徒
 ・ ネクタイなし、靴ひも緩みなどの中途半端な身だしなみの見過ごし
 ・ プレザーとセーター・ベストなどの関係を分かっていない生徒
 ・ あまりにも多くの教具を抱え、難渋する場面の確認
 ・ 登下校時にはヘッドフォンなどを使用しないよう注意（交通安全の習慣づけ）

月	福澤
水	土井
金	野村

南波
必要時に
玄関内で

舎監時の巡視
 ・ 舎監業務のあいだ寮内外を巡視し、気づいたことや指導したことを「舎監室ノート（新設、舎監長管理）」に記入する。
 （期間や方法は指定せず重点的に必要時にはアナウンス、積極的に全教員で）
 H27年度の懸念されるポイント
 ・ 17:50、19:50の帰寮遅刻が増加
 ・ 寮ロビー、福祉センターの公園、神社、河原、プール横ベンチなどでの行き過ぎた男女交際
 ・ 娯楽室の清掃、整理整頓（清掃時間内で担当学年に指示等）

昼休み開錠作業
 ・ 12:40までに図書室を開錠、13:05予鈴が鳴ったら施錠する。
 ・ 図書室等に常駐する必要があるが、廊下等で生徒の観察、気になることはすぐに生徒指導部へ相談する。

月	火	水	木	金	
大木	林	棚橋 (大木)	押見	川崎	概ね左表担当だが、5校時の授業がある場合には「代わってください」と声をかける。余裕のない指導はよくないので遠慮なく代わってもらう。

生徒指導部（別紙） チセネシリ寮

1 活動目標

- (1) 生徒の安全と基本的な生活習慣の定着を図る。
- (2) 主体的で自律的な寮生活を送る力を育成する。

2 今年度の重点課題

- (1) 快適な生活環境づくりと健康保持に努める。
- (2) 集団生活の中での健やかな人間関係づくりを重視し、社会性を養う。

3 課題解決の方策

- (1) 月別努力目標を設定し、寮生の生活改善に努める。
- (2) 生活規律の徹底を図り、健康管理に努める。
- (3) 寮と学校の情報交換の場を設け、課題を明確にし指導の改善に努める。
- (4) 教育相談機能を充実し、生徒理解と生活指導の改善に努める。
- (5) 寮生行事の充実を努める。
- (6) 学校及び家庭との連携強化に努める。

4 組織編成

教 職 員		
寮 監	永井 満	北原 貴志
寮 監 補	今井 良一	
寄宿舎指導員	執行 伸枝	
寮職員	神野 隆敏	
随 管 理 人	池田 嘉夫	池田 恵美子
舎 監 長	押見 葉奈	
副 舎 監 長	南波 李佳	土井 佑弥
舎 監	教諭 全員	

5 日課（平日）

点呼	6:55
朝食	7:00～7:30
登校	8:00～8:15
昼食	12:25～
夕食	17:50～18:30
入浴	16:00～20:00（金曜日は16:00～20:50）
学習時間	20:00～21:00（金曜日は学習時間指定なし）
清掃	21:00～21:15
就寝消灯	22:50

6 月別年間計画

月	目 標
4	○規則正しい生活をしよう。
5	○好ましい人間関係を作ろう。
6	○時間を守ろう。
7	○時間を有効に活用しよう。
8	○体を動かし、体力増強を図ろう。
9	○学習時間を有効に使い、基礎学力を向上させよう。
10	○だらけた生活をしないようにしよう。
11	○寮祭を成功させるため、みんなで協力しよう。
12	○バランスの良い食生活をし、健康管理に努めよう。
1	○3年生を送る会を盛り上げよう。
2	○卒業・進級を目指して一生懸命学習しよう。
3	○次年度の目標や計画を立て、準備をしよう。

7 達成の目標（評価の視点）

- (1) 基本的な生活習慣が確立されたか。
- (2) 集団生活としての規律が守られ、明るく楽しい雰囲気をつくられたか。
- (3) 寮教育を推進するにあたって、全教職員の協力体制が得られたか。
- (4) 互いに助け合ったり、協力する姿勢が醸成されたか。
- (5) 学校及び家庭との連携が密に行われ、理解や協力が得られたか。
- (6) 寮生会が主体的に活動し、諸行事が効果的に展開されたか。

進路指導部

1 活動目標

- (1) キャリア教育の推進による進路実現の充実
- (2) 早期からの計画的な進路指導
- (3) 資格取得の推進

2 今年度の重点課題

- (1) 進路意識を高め、キャリア発達課題の達成を目指し自己実現に向けて努力する態度を育成する。
- (2) 自己理解を深め、個性や能力・適性に応じて進路目標を設定する力を育成する。
- (3) 個に応じた進路開拓や情報収集・発信を図り、進路実現を達成する。

3 課題解決の方策

- (1) キャリア教育を踏まえた、教職員全体での3年間に渡る進路活動の確立
 - ・ キャリア発達にかかわる諸能力・基礎的・汎用的能力との関係を明確化した3年間の計画を作成する。
 - ・ 教務部・各学年担任との連携により、LHR・総合学習・高大連携の相互関係を明確化する。
 - ・ 教員へ積極的に進路情報を提供する。
 - ・ 外部組織・講師との連携を行う。
- (2) 進路のしおりの改訂と進路指導室運営の見直し
 - ・ 進路のしおりを活動実施時のワークシート・レポート・カルテとして発行する。
 - ・ 進路室利用方法の明示と生徒への利用を喚起する。
 - ・ 計画的な模擬面接練習、生徒の状況に応じた面談・インターンシップを実施する。
- (3) 模擬試験・検定・進学講習の効果的な運営
 - ・ 検定・模擬試験の年間予定を保護者に送付するとともに生徒にも配付し計画的な受験を促す。
 - ・ 学級担任と教科担任の連携により学習および資格取得への意識の高揚を図る。
 - ・ 模擬試験前後に講習において指導を行い、進路実現に向けた学習活動の定着を図る。

4 分掌構成・業務担当・各種委員会

委員会名	担当者	主管
推薦委員会	福澤	進路指導部
業者選定委員会	福澤	事務長（校務運営会議）
修学旅行委員会	福澤	教務部（教務）
学校情報委員会	福澤	教務部（総務）

5 業務一覧表

係	業務内容	担当
庶務	進路指導計画・各種送付文書・進路状況統計・資料作成	福澤・野村・吉田
進学	学校連絡・入学願書点検及び指導・模擬面接・進学講習	福澤・野村・吉田
就職	職場連絡・履歴書点検及び指導・模擬面接・一般常識問題対策	福澤・野村・吉田
渉外	進路開拓（学校、職場訪問等）・進路来客対応	福澤・野村・吉田・3学年部
研修	校内研修・校外研修・職業講話・インターンシップ	福澤・野村・吉田
環境整備	資料整備（入学案内、求人票等）・相談室整備・掲示物	福澤・野村
奨学金	北海道高等学校奨学会（在学中）に関する業務	福澤・野村
	日本学生支援機構（進学後）に関する業務	福澤・吉田
	その他の奨学金に関する業務	福澤
学年担当	1学年 1学年LHR資料作成・進路相談計画	池田・福澤・野村
	2学年 2学年LHR資料作成・進路相談計画	碓矢・福澤・野村
	3学年 3学年LHR資料作成・三者面談・進路相談計画	吉田・福澤

6 年間計画

月	第1学年	第2学年	第3学年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いや意見を適切に伝え、互いに支えわかり合える友人関係を築く力をつける。 ○自分の能力・適性を理解し、それを伸ばす努力をする。 ○進路や職業に関する様々な情報を収集・探索し、実現に向けて適切な計画を立てる力を養う。 ○働くこと・学ぶことの意義を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の役割や他者の個性を理解し、協働して物事を進める力をつける。 ○自分の興味・関心や個性を理解し、自分から進んで行動する態度を育てる。 ○職業についての総合的・現実的な理解にもとづき、自分の将来像を設計し、進路計画を立てる力を育てる。 ○将来設計に基づいて、今取り組むべき学習や活動を理解し、行動させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○リーダー・フォロワーシップを発揮して相手の能力を引き出し、チームワークを高める力や態度を育てる。 ○社会との関わり方を考えながら、自己の職業的な能力・適性を伸ばすよう努力する態度を育てる。 ○将来設計、進路希望の実現を目指して課題を設定し、その解決に取り組む姿勢を身につけさせる。 ○生きがい・やりがいがあり自己を活かせる生き方や進路を現実的に考えさせる。
4	<ul style="list-style-type: none"> ■新入生オリエンテーション ●進路希望調査（連休中） 	<ul style="list-style-type: none"> ■進路ガイダンス（見学について） ●進路希望調査（春季休業中） 	<ul style="list-style-type: none"> ●進路希望調査（春季休業中）
5	<ul style="list-style-type: none"> ■クレベリン検査（性格適性） ▼公務員模試 	<ul style="list-style-type: none"> ■職業レディネステスト（今年度は実施せず） ▼全統模試 ▼公務員模試 	<ul style="list-style-type: none"> ●進路面談（全員；担任・進路指導主事） ●進路適性検査（必要に心じ） ▼公務員模試 ▼駿台全国判定模試 ●日本学生支援機構申込（第1回）
6	<ul style="list-style-type: none"> ★自分を見つめる（自己理解） ▲地区懇談会 ■進路講話（総合学習） ▼公務員模試 ▼英語検定 ▼漢字検定 	<ul style="list-style-type: none"> ▲進路面談 ▲地区懇談会 ■進路講話（総合的な学習） ▼公務員模試 ▼英語検定 ▼漢字検定 	<ul style="list-style-type: none"> ●進路用写真撮影 ★進路の流れ再確認 ▲地区懇談会 ★出願書類の書き方 ▼公務員模試 ▼漢字検定
7	<ul style="list-style-type: none"> ★各種検定・資格について ▼公務員模試 	<ul style="list-style-type: none"> ▼公務員模試 	<ul style="list-style-type: none"> ■求人票受付開始 ★就職者説明会 ■三者面談（夏季休業中） ▼公務員模試 ■駿台マーク模試
8	<ul style="list-style-type: none"> ■コース制ガイダンス ●進路面談（希望者） ▼全統模試 	<ul style="list-style-type: none"> ■職業について考える ▼全統模試 	<ul style="list-style-type: none"> ●三者面談（夏季休業中）▼自衛官講習 ●進路希望調査（夏季休業中） ●模擬面接指導（個別）★進学者説明会 ●就職推薦会議 ●大学AO入試開始
9	<ul style="list-style-type: none"> ■就職について知る① ●進路希望調査（学期間休業中） 	<ul style="list-style-type: none"> ●進路希望調査（学期間休業中） ■デザインスクール 	<ul style="list-style-type: none"> ★受験に向けて ●模擬面接指導（個別） ▼駿台ベネッセマーク模試 ●前期末末考査 ●進学推薦会議 ●就職応募・採用開始 ●自衛官・一般曹候補生採用試験
10	<ul style="list-style-type: none"> ■就職について知る② ▼漢字検定 	<ul style="list-style-type: none"> ▼漢字検定 	<ul style="list-style-type: none"> ★内定・合格後の生活について ●模擬面接指導（個別）▼漢字検定 ▼駿台ベネッセ判定模試 ●専門学校推薦入試開始 ●大学入試センター試験出願
11	<ul style="list-style-type: none"> ▲地区懇談会 ■職業講話 	<ul style="list-style-type: none"> ▲地区懇談会 ■職業講話 	<ul style="list-style-type: none"> ★社会人とは ●模擬面接指導（個別） ●大学推薦入試開始 ●日本学生支援機構申込（第2回）
12	<ul style="list-style-type: none"> ■進学について考える 	<ul style="list-style-type: none"> ■先輩の話を聞く会 	<ul style="list-style-type: none"> ●模擬面接指導（個別） ■先輩の話を聞く会（2年へ派遣）
1	<ul style="list-style-type: none"> ■先輩の話を聞く会 ▼英語検定 	<ul style="list-style-type: none"> ▼英語検定 	<ul style="list-style-type: none"> ★進路活動の反省 ●模擬面接指導（個別） ●大学入試センター試験 ●大学一般入試開始 ■先輩の話を聞く会（1年へ派遣）
2	<ul style="list-style-type: none"> ●進路面談（全員） ★進路指導規定について 	<ul style="list-style-type: none"> ●進路面談（全員） ■面接試験とは①② 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ▼駿台全国マーク模試 	<ul style="list-style-type: none"> ▼駿台全国マーク模試 ●面接指導（全員） ★求人票の見方 	

●：行事等 ■総合的な学習 ★：LHRでの指導 ▲：その他 ▼：検定・模試

7 達成目標（評価の視点）

- (1) キャリア教育の推進により進路実現が充実したか。
- (2) 早期からの計画的な進路指導ができたか。
- (3) 資格取得が推進されたか。

学年・学級経営計画

第1学年 学級経営計画

担任：池田 教朗

副担任：押見 葉奈

学級目標：十人十色 ～ 互いに個性を尊重し、認め合い、高め合う		
学級経営	① 基本的な生活習慣を確立し、確かな学力を身につける。 ② 他者との関わり合いを通して様々な見方を学び、豊かな心を育成する。 ③ 自ら課題や目標を持ち、見直しをもって解決したり達成するために努力する力を育成する。	
学年目標	1. 学習指導：継続的な学習習慣を形成する。 2. 生徒指導：基本的な生活習慣を確立する。 3. 進路指導：社会に関する情報を取り入れた上で自己を見つめ、進路を意識する。 4. 健康・安全指導：危険に対する認識を深め、自己管理能力を育成する。	
前期	前期 指導の重点：本校の特色を知り、学校生活における基本的な規則を身につけさせる。	
	4月 ○本校の特色を理解するとともに、高校生活での目的意識を持たせる。 ○高校生活、寮生活の規律の確認及び適応の促進を図る。 ○個別面談をとおして生徒理解に努める。	・入寮式 ・入学式 ・高体連
	5月 ○森林探訪をとおし、北海道の木の性質や自然の大切さを理解させる。 ○学習規律の徹底を図る。	・宿泊研修 ・前期中間考査
	6月 ○中間考査への取り組み指導及び事後指導を行う。 ○進路指導を行い、進路に対する意識の高揚を図る。	・高大連携教育 ・学校祭
	7月 ○学校祭をとおし仲間の大切さを理解させると共に、協調性、主体性を養う。 ○長期休暇の過ごし方指導をする。	・全校集会 ・木の手作り展
	8月 ○生活規律、学習態度の見直しと徹底に努める。身だしなみ指導。 ○個別面談をとおし、生徒理解に努める。	・高文連 ・森林探訪
	9月 ○前期期末考査への取り組み指導及び事後指導を行う。	・前期期末考査 ・前期終業式
	後期 指導の重点：次学年に向けて明確な目標を持たせ、今後の進路に対する意識を高める。	
	10月 ○学習相談をとおし、個々の目標への意識作りを行う。 ○前期の反省、評価を行い、後期の目標と見直しをもたせる。	・後期始業式 ・後期中間考査
11月 ○健康等の自己管理能力の育成を図る。 ○進路指導を行い、意識の高揚を図る。 ○後期中間考査への取り組み指導及び事後指導を行う。	・全校集会 ・体育祭 ・3年生を送る会	
12月 ○長期休暇の過ごし方指導をする。 ○体育祭をとおし、団結することの意義を理解し、クラスの連帯感を高める。	・学年末考査 ・卒業式 ・後期終業式	
1月 ○個別面談をとおして生徒理解に努める。 ○3年生を送る会の活動をとおし、上級学年になることへの意識作りを行う。		
2月 ○学年末考査への取り組み指導及び事後指導を行う。 ○学習相談を通し、個々の目標に向けた具体的な取り組みの指導を行う。		
3月 ○自分の適性を理解させ、目標と実現のための見直しを持たせる。 ○本年度の反省、評価を行い、次年度の計画を立てさせる。		
達成目標	1. 自立した行動をとり、活力に満ちた学校生活を送らせることができたか。 2. 学校生活、寮生活における規律を守らせることができたか。 3. 基本的な生活習慣・学習習慣を定着させることができたか。 4. 他を尊重した社会性のある行動をさせることができたか。 5. 自己の適性についての理解を促し、進路に対する意識を持たせることができたか。	
評価視点		

学級組織

学級委員長：瀬戸口 亜加音	生徒会	寮生会
副委員長：鈴木あゆみ		
書記：中濱 芽依		
書記：細越 愛未		
書記：竹村 英		
会計：湯藤 菜々子		
会計：今井 涼		

生活委員	保健委員	図書委員	選挙管理委員
村田 琴音	長尾 匡洋	田村 まう	稲辺みのり
宮田 絢乃	中道 神那	鈴木 空大	白柳 緋也

学習係	体育係	食事係	掲示係	号令係	庶務係
鈴木 絵 寺地 凜 高橋 遼奈 岩間 和 黒田 真琴	稲辺みのり 菊地 竜平 竹村 英 宮田 茂	尾田宇太朗 澁谷 詩音 村岡 墨 若月 匠 宮田 茂 川原 藍梨	安東 龍生 大城 美瑠	橋本あゆり 三浦 悠輔	菊地 竜平 佐藤 拓斗 川尻 舜

第2学年 学級経営計画

担任：碓矢 真由

副担任：林 一 浩

学級目標：自分の夢に向かって妥協しない、手を抜かない、最後までやり抜く。	
学級経営	① 規律ある生活を送るために、自己管理をする力の育成。 ② 目標を持ち、その実現に向けて自ら考え行動し、努力し続ける力の育成。 ③ 集団生活の中で、他者を認め、自己を見つめ直し、互いに高め合える関係性を作る。
学年目標	1. 学習指導：日常的かつ継続的な学習習慣を形成する。 2. 生徒指導：生活習慣の改善と、質の向上を目指して主体的に行動する。 3. 進路指導：自己理解を深め、進路目標を意識し、それに向けた取り組みを自ら行う。 4. 健康・安全指導：自己管理能力の育成と、他者に対する気配りの心を育成する。
前期	前期 指導の重点：中堅学年としての自覚を持ち、自分を見つめ直し、他と協調して行動する力の育成。
	4月 ○学校・寮のルールを再確認し、中堅学年として自覚・実践させる。 ○コース制の趣旨を理解し、自分の選択した科目を意欲的に取り組ませる。
	5月 ○個別面談をとおして自己理解を深めさせる。 ○学習規律の徹底を図る。
	6月 ○中間考査への取り組み指導及び事後指導を行う。 ○自己の適性や関心について基づいて、進路について具体的に考えさせる。
	7月 ○学校祭をとおして、協調性を高め、集団のために主体的に行動させる。 ○長期休暇の過ごし方指導をする。
	8月 ○生活規律、学習態度の再確認と徹底に努める。 ○個別面談をとおし、生徒理解に努める。
	9月 ○前期末考査への取り組み指導及び事後指導を行う。 ○国際理解教育などを通し、コミュニケーション能力の育成を図る。
	後期 指導の重点：自己の進路について考え、目標を明確にし、それに向けた一層の努力をする。
	10月 ○デザインスクールをとおして美術・工芸の見識を深め、意欲を喚起する。 ○前期の反省、評価を行い、次年度への目標をもたせる。
	11月 ○健康等の自己管理能力の育成を図る。 ○進路指導を行い、意識の高揚を図る。 ○後期中間考査への取り組み指導を行う。
12月 ○長期休暇の過ごし方指導をする。 ○体育祭をとおし、団結することの意義を理解し、クラスの連携を高める。	
1月 ○個別面談をとおして生徒理解に努める。 ○3年生を送る会の活動をとおして、最上級学年としての意識作りを行う。	
2月 ○学年末考査への取り組み指導及び事後指導を行う。 ○進路個別面談を通し、個々の目標を明確にし、学習意欲を喚起する。	
3月 ○本年度の反省、評価を行い、次年度への目標を持たせる。 ○卒業制作や学習課題について考えさせ、新年度を迎える意識を形成する。	
達成目標	1. 他者との関わりの中で、互いを思いやり、支えあう力をつけさせることができたか。 2. 校則や寮規則、授業などの規律を意識し、自律した生活を送らせることができたか。 3. 目標を設定し、学習・制作に主体的かつ継続的に取り組むよう支援できたか。 4. 他を尊重した社会性のある行動をさせることができたか。 5. 自己の適性についての理解を促し、進路に対する意識を持たせることができたか。

学級組織

学級委員長：五十嵐 深紅	生徒会	寮生会
副委員長：青山 りか		
書記：藤原 有彩		
書記：岡本 灯偉		
書記：堀本 宗徳		
会計：石岡 恋		
会計：富田 真之介		

生活委員	保健委員	図書委員	選挙管理委員
野上 華歩 本間 小こ	坪田 柚紀 三浦 快	ダイヤー ハイデン 宮川 ころ	金野 詩琉玖 福田 光

学習係	体育係	食事係	掲示係	号令係	庶務係	美化係
池 神 鼓 池田 さやか 大田 原知美 大 薗 茂生 大村 彩華 菊谷 実梨 坂田 空 水 橋 亮	大田 喜日向	上尾 天菜 金丸 翔太郎 黒川 一樹 沢谷 潮音 志村 直也 早川 楓	大橋 美胡 奥村 紗季	伊藤 倅平 小池 天通	田川 大樹 藤ヶ森 雄大	河村 直 城守 爽

第3学年 学級経営計画

担任：吉田 香織

副担任：川崎 さつき

学級目標：自ら目標を設定し、その実現のために計画的・継続的な努力をする		
学級経営	① 規律ある生活を送るために、自己管理（健康・安全）をする力の育成。 ② 目標を持ち、その実現に向けて自ら行動し・努力し続ける力の育成。 ③ 集団生活の中で、他者を認め、自己を見つめ直し、互いに高め合える関係を作る。	
学年目標	1. 学習指導：計画性を持って、主体的・継続的な学習習慣を確立する。 2. 生徒指導：向上心を持ち、自律する態度と他を思いやる協調性を養う。 3. 進路指導：自己理解を深め、進路目標実現のために必要な行動ができる。 4. 健康・安全指導：より良い・充実した生活を送ろうとする意欲と自己管理能力を高める。	
前期	前期 指導の重点：進路意識を高め、自己実現に向けて努力する。 4月 ○最上級学年として自覚させる。 ○進路実現を目指した計画と行動を、主体的に取り組ませる。 ○個別面談を通して生徒理解に努め、自己理解を深めさせる。 5月 ○全体・個別指導を通して生徒理解に努め、進路意識の高揚を図る。 ○前期中間考査への取り組み指導を行う。 6月 ○学校祭に向けての指導を行う。 ○就職試験に向けた指導を行う。 7月 ○学校祭に向けての指導を行う。 ○長期休暇の過ごし方を指導する。 ○三者面談を通して進路希望の決定を促す。 8月 ○就職試験に向けた指導を行う。（面接練習など） ○進学に向けた指導を行う。 9月 ○前期末考査への取り組み指導を行う。 ○進学に向けた指導を行う。	
	後期 指導の重点：進路実現を達成する。 10月 ○国際理解教育を通してコミュニケーション能力を伸長する。 ○模擬面接を実施する。（個別） 11月 ○後期中間考査への取り組み指導を行う。 ○模擬面接を実施する。（個別） ○進路決定後の心構え指導を行う。 12月 ○卒業制作発表会及び3年間の学びのまとめ活動を行わせる。 ○進路未決定者への指導を行う。（個別） 1月 ○3年間の学習の成果をまとめさせ、卒業後の人生設計を行わせる。 ○学年末考査への取り組み指導を行う。 ○家庭学習期間中の心構えについて指導する。 2月 ○卒業式に向けた指導を行う。 3月 ○卒業式後の生活、社会人としての心構えについて指導する。	
	・新寮生歓迎会 ・高体連大会 ・3学年寮レク ・前期中間考査 ・高大連携授業 ・村民運動会 ・木の手づくり展 ・学校祭 ・前期末考査	
	・高大連携授業 ・後期中間考査 ・レクサンド派遣 ・レクサンド高受入 ・強歩記録会 ・寮祭 ・体育祭 ・三年生を送る会 ・学年末考査 ・卒業式	
	達成目標	1. 計画性をもって学習に臨むとともに、主体的・継続的に学習に取り組むことができたか。 2. 規律を守るとともに、他者と協調して互いに気遣い合う雰囲気を作ろうとしたか。 3. 自他の存在を肯定し、関わりの中で教えあい、学びあい、助けあう姿勢を伸長できたか。 4. 自己の個性、能力適性に即して進路について考え、求められる力を伸長しようとしたか。
	評価視点	

学級組織

学級委員長：楠 朋	生徒会	寮生会
副委員長：小笠原航洋		
書記：石山 健樹		
書記：黒川 友恵		
書記：諸橋 蓮		
書記：成澤 秋歩		
書記：渡邊 紫乃		

生活委員	保健委員	図書委員	選挙管理委員
伊藤 銀	藤岡 昂太	田中 夏葵	成澤 秋歩
大橋三四郎	横山 夢乃	林 かれん	林 かれん

学習係	体育係	食事係	掲示係	号令係	進路係	文集係	アルバム係
石倉 向	小林 大樹	吾子 瑞紀	清水 麻里	梶 夏季	加藤 正大	小山 天香	武藤 海地
小原亜明人	後藤 大成	川島さなえ		菅原 結	永山 千尋	永山 千尋	諸橋 蓮
小山 天香		小峰 紗奈			疋田 小梅	諸橋 蓮	横山 夢乃
佐藤 丈		雫石菜々子					渡邊 紫乃
高杉 美里		野上 祐希					
谷口 早希		森 いつみ					
武藤 海地							
山内 理菜							
山本 悠加							

クラスの役割分担

学 習：授業・補習等の連絡・確認、教科ファイル回収・返却
 号 令：HR、授業開始終了時の号令
 保 健：罹患調査
 生 活：教室環境整備、授業規律順守
 掲 示：教室掲示物の管理
 書 記：袖黒板管理、クラス討議の記録
 体 育：体育連絡・ゼッケン管理
 進 路：進路資料配布、進路関係連絡
 文 集：クラス文集の企画・編集作業
 アルバム：卒業アルバムの編集作業

学年団内の業務分担

	業務内容	担当者
総 務	部会の招集・運営 学年企画・運営 学級通信 懇談会等の計画 特別支援教育・教育相談委員会との連携	◎吉田 川崎 福澤
生活保健	生活指導全般 保健・安全指導 生徒指導事故における事前事後指導	◎上井 野村 吉田
学習指導	学習習慣の定着 学習状況の把握 成績不振者対策 教科・教務部との連携 考査前の事前学習企画・運営	◎川崎 野村 土井
進路指導	進路指導計画 模擬試験等の計画と実施 進路情報提供 進路説明会の運営 進路行事の企画・運営 進路講習 模擬面接	◎福澤 吉田 野村
行事指導	学校祭・体育祭等の指導 生徒会・寮生会との連携	◎吉田 野村 上井
L I I R	年間計画の立案 L I I Rの企画・運営 資料提供	◎吉田 福澤 川崎
厚生・会計	HR会計 写真業者との連携 卒業アルバムの作成 学年レク企画	◎土井 吉田 川崎

学科（工芸科）経営計画

1 目標

- (1) 美術・工芸の学習体験をとおして、造形体験を豊かにし、造形的な表現と鑑賞の能力を高め、文化の発展に寄与する態度と能力を養う。
- (2) 北海道の木材資源の工芸的活用を図り、地域の振興に寄与する。

2 重点課題

- (1) 生徒一人ひとりの個性・想像力を大切にする造形教育の実践を推進する。
- (2) 多様な生徒に対応する教材の開発や指導方法の工夫により、個性を生かした造形教育を推進する。
- (3) 生徒個々の理解度・達成度を的確に捉え、適切な指導を行う。
- (4) 生徒個々の達成状況を段階的に評価・把握した上で、的確に次の目標を設定する。
- (5) 安全教育を徹底する。
- (6) 高大連携・学校間連携の実施と推進をする。
- (7) 教育課程の精選と検討の推進とする。

3 課題解決の方策

- (1) チームティーチングによるきめ細かい指導の実践
- (2) 生徒の習得段階に応じた教材の研究
- (3) 生徒個々の制作進度に対応できる個別指導の実践
- (4) 個人の達成目標を明確にした学習方法・評価の研究
- (5) 生徒への安全指導の徹底と継続（工芸棟使用法、機械操作法、止血法、服装頭髪指導等）
- (6) 高大連携・学校間連携の実施と推進に向けた研修
- (7) 教育課程の研修と内容の精選

4 達成目標

- (1) 安全教育を徹底できたか
- (2) 教育課程の検討を推進できたか
- (3) 教科の内容と進度を適正にできたか
- (4) 各種連携を適切に行えたか

5 業務分担

係	業務内容	担当
庶務	教育計画、木の手作り展、渉外	○野村、澤口
消耗品・設備・材料管理	予算、消耗品購入および管理、設備の点検・整備・補充、材料購入計画及び管理指導	○野村、澤口
高大連携・学校間連携	高大連携・学校間連携に関わる授業等の計画・連絡調整	○野村、福澤
安全教育	安全に関する指導	○野村、大木
研修	校内研修、校外研修	○川崎、押見、澤口
制作支援・デッサン講習	制作支援・デッサン講習の計画と指導	○大木、福澤、野村
各種委員会		担当
教育課程委員会		野村、川添（教務部兼任）
入学者選抜委員会		野村
国際理解教育委員会		川崎（教務部兼任）
修学旅行委員会		福澤（進路指導部兼任）
学校情報委員会		福澤（進路指導部兼任）

6 年間計画

	月	内 容
前期	4	教育計画、1年用手工具購入、材料購入計画
	5	※高大連携 2学年「木工制作Ⅱ」ポートフォリオの作り方（東海大学教官による連携授業） ※高大連携 3学年「課題研究」制作の進め方、ポートフォリオ、プレゼンテーションについて（東海大学教官による連携授業）
	6	木の手づくり展（旭川）森林探訪（1学年） ※高大連携 1学年「木工制作Ⅰ」おもちゃ作りの考え方（東海大学教官による連携授業）
	7	工芸棟大掃除計画、高総文祭（滋賀）
	8	木の手づくり展（札幌）、高文連道北支部美術展（稚内）
	9	※高大連携大学訪問 2学年 『デザインスクール』 4日日程（東海大学校舎での連携授業）※インテリア史『名作椅子について』を含む ※高大連携 2学年「木工制作Ⅱ」デザイン制作とプレゼンテーションの方法（東海大学教官による連携授業）
	10	工芸棟大掃除計画、1日体験入学、高文連全道大会（札幌）
	11	村文化祭
	12	工芸棟大掃除計画、卒業生作品梱包
後期	1	卒業生作品梱包・発送 卒業制作発表（全学年授業）
	2	
	3	学年末工芸棟大掃除計画

7 概要（平成25年度入学生からの教育課程）

（1） 木材理論・インテリア史

- ・ 目 標 生活における工芸の意義を理解させ環境について考える能力を高める。
- ・ 内 容 木 材 理 論…生活における工芸の役割を考え、素材、用法を学ぶ。
インテリア史…工芸の歴史をとおして作品が持つ様々な要素を考え、制作の方法を学ぶ。

（2） 工業技術基礎

- ・ 目 標 工芸に使用される材料の諸性質及び、審美的な特質について理解させ、制作に必要な材料・工具・機械などを正しく使用し手工具を用い適切な方法で制作する能力を養う。
- ・ 内 容 工業技術基礎…木材の加工をとおして性質、特性を理解し活用を学ぶ。

（3） 木工制作Ⅰ・木工制作Ⅱ・課題研究

- ・ 目 標 工芸の造形的な創造活動をとおして表現と鑑賞の能力を一層高めるとともに、基礎的・基本的な知識と技術を習得し、工芸の在り方について理解を深める。
- ・ 内 容 木 工 制 作 Ⅰ…付加価値の高い技術性と審美的要素を備えた制作題材を設定し、加工・仕上げの技術を習得させるとともに創造と鑑賞の能力を養う。
木 工 制 作 Ⅱ…生活に関わりのある家具などに関する基礎的な知識と制作技術を習得させ、実際の生産に活用する能力を養う。
課 題 研 究…生徒の能力に応じて、生徒自ら美術・工芸において制作題材を設定し、主体性のある構想を練り制作する。

（4） 図法・製図

- ・ 目 標 製図に必要な基礎的な図法を理解させ、形態と図面の関係を明確にし、製図読図の能力を高めるとともに、構想の計画と、表示の能力を養う。

- ・ 内 容 図法・製図…図法の種類と製図の基礎の習得と製図の実習をとおして作図と読図を学ぶ。

(5) 選択科目 (工芸) 工芸制作・工芸研究

- ・ 目 標 基礎基本の積み上げから、主体的に意匠加工を行う力を養う。
- ・ 内 容 工 芸 制 作…課題制作をとおして製品デザインの表現や考え方を学び自ら工夫して制作する力を養う。
工 芸 研 究…工芸学習のまとめとし習得した技術を制作課題に生かし、自らを表現することをとおして総合的な視野を持つ造形力を養い、鑑賞力と豊かな心を育成する。

(6) 選択科目 (美術) 素描・絵画・美術研究

- ・ 目 標 美術分野における基礎技術の習得と、それらを応用発展させ、総合的に表現する力を養う。
- ・ 内 容 素 描…素描、クロッキー等の基礎的表現技法をとおし空間の感覚および表現する力を養う。
絵 画…美術における各領域の基礎技法を制作をとおして学び表現力を高めるとともに、作品制作における構想の力を養う。
美 術 研 究…油彩画の創造的な諸活動をとおして、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育て、感性と美意識を磨き個性豊かな美術の能力を高める。

8 学習系統について

		1 学 年	2 学 年	3 学 年
基礎 応用と制作 理論と鑑賞	工業技術基礎	4 単位 ・ 工具の手入れ, 使い方 ※美術 I 2 単位 ※工芸 I 2 単位 ・ 金工ペーパーナイフ, 陶芸		
	図法・製図 5 単位			
	木工制作 I	3 単位 ・ 木製おもちゃのデザイン ・ 制作, 彫刻刀の使い方	木工制作 II 6 単位 ・ 大型機械の使用法 ・ スツール, チェスト	
	工芸		工芸制作 4 単位 ・ 半期ごとにコンセプトをたて設計し作品を制作する	工芸研究 5 単位 ・ コンセプトをたて設計し作品を制作する
	美術		素 描 1 単位 絵 画 3 単位	素 描 1 単位 美術研究 4 単位
	共通			課題研究 6 単位 ・ 1年間の制作の計画をたて工芸作品を制作する
	木材理論	1 単位	インテリア史 1 単位	

※美術 I, 工芸 I は必履修科目

総合的な学習の時間 全体計画

1 総合的学習の時間の目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。

2 本校の目標

全道唯一の村立工芸高校の生徒として自覚を持ち、地域との交流を深めるとともに、美術工芸を学ぶ意欲を高め、理解を深める。

3 内容

(1) 育てたい資質や能力及び態度

- ① 進路情報を広い範囲から迅速かつ効果的に収集し、多角的・実際に分析する力
- ② 先人の歴史や本校の伝統などを受け継ぎ、美術工芸の作品制作に生かすことができる技能
- ③ 異校種交流や村民との触れあいによる他者の考えを受け入れ、尊重し理解しようとする態度

(2) 年間指導計画

学期	月	活動内容	実施学年	時数	項目 ※1	内 容
前期	4	新入生オリエンテーション	1	6	②	工芸科、本校の特徴の理解
	5	植樹祭	2	2	③	植樹祭を通しての村民との触れあい
		自分を知る	1	1	①	適性検査を通して自己理解を深める
	6	職種と適性について	2	1	①	興味対象と適性との関係を確認する
		森林探訪	1	6	②	森林資源の把握を通じた木材一般の理解
		美術進路説明会	1・2	1	①	美術進路情報の把握と自己理解
		高大連携教育	3	2	①・②	高大連携を通じた制作技術の習得
	7	クリーンおといねっぷ	全学年	1	③	清掃を通しての村を愛する心の育成
		村民運動会	全学年	6	③	村民との触れあいによる異年齢交流
		コース制ガイダンス	1	1	①	コース制の理解と自らの進路把握
	8	舞台演出と表現	全学年	6	②	本校の伝統を受け継ぐ態度とその体現
		学校間連携授業	全	2	③	村内各学校の連携による異年齢交流
9	職業について考える	2	1	①	希望する職種と求められる力の理解	
	デザインスクール	2	1 8	①・②	高大連携を通じた制作技術の習得	
	就職について知る	1	1	①	給与、社会保障、採用方法の理解	
	国際理解教育報告会	全学年	1	②・③	異文化理解と工芸制作への応用	
後期	11	職業講話	1・2	2	①	職業の把握と自己理解
	12	進学について知る	1	1	①	学問分野と学費、職種との関係の理解
		卒業生の声を聞く会	2	1	①	先輩の経験を通して自分の課題の理解
	1	卒業生の声を聞く会	1	1	①・②	先輩の経験を通して自分の課題の理解
		赤ちゃん触れあい体験	3	3	③	生命に対する畏敬の念の育成
	2	面接試験とは	2	2	①・②	面接手順の理解と自己理解の深化
	性教育講話	2	2	③	性教育を通じた他者の考えや立場の理解	

※1 項目とは、3 内容 (1) 育てたい資質や能力及び態度 の関連項目である。

4 活動内容の教科等の関連及び他機関との関連について

月	活動内容	関連する教科及び連携機関 等
4	新入生オリエンテーション	教科・科目(美術・工芸)
5	植樹祭	教科・科目(工芸)、北海道大学中川研究林、音威子府村
6	森林探訪	教科・科目(工芸)、北海道大学中川研究林、音威子府村
	美術進路説明会	教科・科目(美術・工芸)、美術系専門学校
7	高大連携教育	教科・科目(美術・工芸)、東海大学
	クリーンおといねっぷ	音威子府村
	村民運動会	教科・科目(保健体育)、音威子府村
	コース制ガイダンス	教科・科目(美術・工芸)
8	舞台演出と表現	特別活動(学校祭)
9	学校間連携授業	音威子府村立幼稚園、小学校、中学校、音威子府村
11	デザインスクール	教科・科目(美術・工芸)、東海大学
	国際理解教育報告会	教科・科目(美術・工芸・英語)
1	職業講話	進路情報企業、公共職業安定所
1	赤ちゃん触れあい体験	教科・科目(保健体育)、音威子府村(保健センター)
2	性教育講話	教科・科目(保健体育)、音威子府村(保健センター)

特別活動 全体計画

1 特別活動の目標

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

2 内容

(1) ホームルーム活動

① 目標

ホームルーム活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてのホームルームや学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。

② 内容及び年間指導計画

省略（LHR活動年間指導計画を参照されたい）

(2) 生徒会活動

① 目標

生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

② 内容及び年間指導計画

学期	月	活動内容	活動場所	時数	項目(※1)
前期	4	対面式	体育館	1	(1)(2)(3)
	4	図書室の使用方法	HR教室	—	(1)(3)
	5	生徒総会への議案作成	HR教室	—	(1)(3)
	5	おさしまボランティア説明	HR教室	—	(2)(5)
	5	生徒総会	体育館	1	(1)(3)(4)
	5	高体連壮行会(夏季)	体育館	—	(1)(4)
	6	学校祭希望調査	HR教室	—	(1)(3)(4)
	6	生徒総会(学校祭)	体育館	1	(1)(3)(4)
	9	生徒会役員選挙事前準備	HR教室	—	(1)(3)
後期	9	生徒会役員選挙	体育館	1	(1)(3)
	11	留学生との触れあい	HR教室	—	(2)(4)
	12	体育祭希望調査	HR教室	—	(1)(3)(4)
	12	寮祭希望調査	HR教室	—	(1)(3)(4)
	1	高体連壮行会(冬季)	体育館	—	(1)(4)
—	—	3年生を送る会(※2)	体育館	—	(1)(4)
—	—	寮生集会(※2)	寮内	—	(2)

※1
項目とは、次のとおり学習指導要領に示されている生徒会活動の内容である。
(1)生徒会の計画や運営
(2)異年齢集団による交流
(3)生徒の諸活動についての連絡調整
(4)学校行事への協力
(5)ボランティア活動などの社会参加

※2 寮生会の活動

(3) 学校行事

① 目標

学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

② 内容及び年間指導計画

学期	月	行事名	時数	学年	項目※1	他の教育活動との関連
前期	4	前期始業式	1	2・3	(1)	HR(事前指導)
		入学式準備	1	2・3	(1)	HR(事前指導)
		入学式	1	1	(1)	HR(事前指導)
		三計測	1	全	(3)	HR(事前指導)
		見学旅行結団式	1	3	(4)	HR(事前指導)
		見学旅行	30	3	(4)	HR(事前・事後指導)
	5	全校集会	1	1・2	(1)	HR(事前指導)
		全校集会	1	全	(1)	HR(事後指導)
		宿泊研修結団式	1	1	(4)	HR(事前指導)
	6	宿泊研修	18	1	(4)	教科・科目(美術・工芸)
		避難訓練	1	全	(3)	HR(事前指導)
		交通安全・薬物乱用防止講話	1	全	(3)	教科・科目(保健・体育)
	7	学校祭準備	6	全	(2)	特別活動(生徒会活動)
		学校祭	12	全	(2)	特別活動(生徒会活動)
		学校祭後片づけ	2	全	(5)	特別活動(生徒会活動)
		大掃除	3	全	(5)	HR(事前指導)
		全校集会	1	全	(1)	HR(事前指導)
	8	全校集会	1	全	(1)	HR(事後指導)
	10	前期終業式	1	全	(1)	HR(事前指導)

学期	月	行事名	時数	学年	項目※1	他の教育活動との関連
後期	10	後期始業式	1	全	(1)	HR (事前指導)
		大掃除	2	全	(5)	HR (事前指導)
		避難訓練	1	全	(3)	IIR (事前指導)
	12	大掃除	3	全	(5)	HR (事前指導)
		全校集会	1	全	(1)	HR (事前指導)
	1	全校集会	1	全	(1)	HR (事前指導)
		大掃除	1	全	(5)	HR (事前指導)
	2	卒業式準備・予行	1	全	(1)	HR (事前指導)
		礼法指導・同窓会	2	3	(1)	HR (事前指導)
	3	卒業式	3	全	(1)	HR (事前指導)
		大掃除	1	1・2	(5)	HR (事前指導)
		大掃除	2	1・2	(5)	IIR (事前指導)
修了式		1	1・2	(1)	HR (事前指導)	

※1 項目とは、次のとおり学習指導要領に示されている内容である。

- (1)儀式的行事 (2)文化的行事 (3)健康安全・体育的行事 (4)旅行・宿泊的行事
(5)勤労生産・奉仕的行事

3 特別活動の5つの観点

「ホームルーム活動」「生徒会活動」「学校行事」を通して育てたい能力や態度を明確にするべく、5つ観点を設定している。

- (A) 望ましい集団活動の展開と望ましい集団の育成
(B) 個人的な資質の育成
(C) 社会的な資質の育成
(D) 自主的、実践的な態度の育成
(E) 人間としての在り方生き方についての自覚と自己を生かす能力の育成

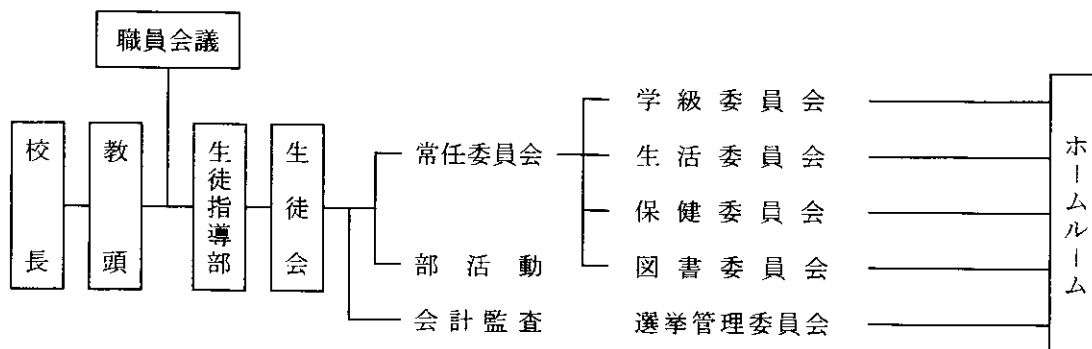
4 特別活動の項目

「項目」は、次のとおり学習指導要領に示されているホームルーム活動の内容である。

- (1) ホームルームや学校の生活づくり
ア：ホームルームや学校における生活上の諸問題の解決
イ：ホームルーム内の組織づくりと自主的な活動
ウ：学校における多様な集団の生活の向上
- (2) 適応と成長及び健康安全
ア：青年期の悩みや課題とその解決
イ：自己及び他者の個性の理解と尊重
ウ：社会生活における役割の自覚と自己責任
エ：男女相互の理解と協力
オ：コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立
カ：ボランティア活動の意義の理解と参画
キ：国際理解と国際交流
ク：心身の健康と健全な生活態度や規律ある習慣の確立
ケ：生命の尊重と安全な生活態度や規律ある習慣の確立
- (3) 学業と進路
ア：学ぶことと働くことの意義の理解
イ：主体的な学習態度の確立と学校図書館の利用
ウ：教科・科目の適切な選択
エ：進路適性の理解と進路情報の活用
オ：望ましい勤労観・職業観の確立
カ：主体的な進路の選択決定と将来設計

5 組織編成

(1) 生徒会機構



(2) 生徒会役員

○会長：小原亜明人（3年）

○副会長：小林 大樹（3年） 疋田 小梅（3年）

○書記：五十嵐深紅（2年） 池田さやか（2年）

○会計：山本 悠加（3年） 藤ヶ森雄大（2年）

○会計監査：堀本 宗徳（2年） 城守 爽音（2年）

6 部活動組織

	アルペンスキー	クロスカントリースキー	バドミントン	工芸	美術	軽音楽	家政	文芸	計
男	3	7	4	9	12	7	1	3	46
女	5	3	1	11	23	8	12	3	66
計	8	10	5	20	35	15	13	6	112

LHR活動年間指導計画

第1学年 ホームルーム活動年間指導計画 担任：池田 教朗 副担任：押見 栞奈

学年目標		十人十色 ～ 互いに個性を尊重し、認め合い、高め合う								
LHR目標		他者との関わり合いを通して様々な見方を学び、豊かな心を育成する。 社会に関する情報を取り入れた上で自己を見つめ、進路を意識する。								
学期	月	活動内容	予定 時数	指導方法及び育てたい力	項目	5つの観点				
						A	B	C	D	E
前期	4	担任所信表明	1	担任講話、活気があり自立した生活を送る意欲	(1)ア		○	○		
		オリエンテーション	2	担任講話・アイスプレイング、クラスの団結	(2)オ	○				
		前期役員選出	1	役員選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎			○	
		対面式事前指導	1	自己紹介、自他への理解・学校生活への意欲	(2)イ	○			○	
	5	生徒総会議案書審議	1	議案書審議、自主性と協調性	(1)ウ	○		○	○	
		宿泊研修事前指導	2	日程・内容の確認、積極的に参加する意欲 係分担決め、集団のために行動する姿勢	(1)イ (2)ウ	○		○	○	
	6	学校祭準備・指導	1	概要説明・役割決め、主体的に参加する姿勢	(1)ウ				○	
		携帯マナー教室	1	講師講話、社会性とネットモラル	(2)オ			○		
		学校祭係活動	1	より良い学校祭にするために強調する力	(1)ウ	○		○	○	
		自分を見つめる	1	クレペリン結果を使用	(3)エ	○	○		○	◎
	7	各種検定資格について	1	進路のしおりを使用	(3)カ				○	◎
		学校祭準備・指導	11	コミュニケーション能力・発想力・行動力	(1)ウ	○		○	○	
8	夏季休業明けLHR	1	服装・頭髪点検、規範意識	(2)ク			○			
9	前期の反省	1	講話、自己を見つめなおす力	(1)イ		○		◎	○	
後期	10	後期役員選出	1	役員選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎			○	
	11	体育祭原案審議	1	体育祭審議、協調性・危機管理能力	(2)ク	○			○	
		公務員について知る	1	進路のしおりを使用	(3)ア			○	◎	
	12	体育祭練習	2	説明・ルール理解、自主性・協調性と団結力	(2)オ	◎		○		
		大学について知る	1	進路のしおりを使用	(3)ア			○	◎	
	1	冬季休業明けLHR	1	服装・頭髪点検、規範意識	(2)ク			○		
		3送会事前指導	1	心構え指導、感謝・思いやりの心	(2)オ			○	◎	
		専門学校について知る	1	進路のしおりを使用	(3)ア			○	◎	
	2	進路規程について知る	1	進路のしおりを使用	(3)カ			○	◎	
		卒業式準備	1	心構え・礼法指導	(2)オ			○		
	3	進級を前に	1	講話、進級に向けての覚悟・計画性	(3)カ				○	

※5つの観点 ◎～特に指導の重点とする観点、○～重視する観点

第2学年 ホームルーム活動年間指導計画 担任：碓 矢 真 由 副担任：林 一 浩

学 年 目 標		1. 集団生活を通し、自己管理能力を高め、自律心・社会性を育成する。 2. 自己理解を深め、将来への見通しを持った行動を促す。								
LHR 目 標		個と他者を互いに理解し合い、受け入れ、自己を見つめ直し高めていく態度を育てる。 自分の役割を見つけ、優しい気遣いとアイデアにあふれた活躍を自ら行う力を育成する。								
学 期	月	活 動 内 容	予 定 時 数	指 導 方 法 及 び 育 て たい 力	項 目	5つの観点				
						A	B	C	D	E
前 期	4	担任所信表明、心構え	1	担任講話、活気ある自立した生活を送る意欲	(1)ア		○	○		
		前期役員選出	1	役員選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎			○	
	5	生徒総会議案書審議	1	議案書審議、自主性と協調性	(1)ウ	○		○	○	
		学校祭要項審議	1	学校祭要項審議、見通しを持った企画力	(1)ウ	○			◎	
	6	携帯電話マナー教室	1	講師講話、社会性とネットモラル	(2)オ			◎		
		学校祭係活動	2	より良い学校祭にするために強調する力	(1)ウ	○		○	○	
	7	学校祭準備	11	コミュニケーション能力、発想力、行動力	(1)ウ	○		○	○	
後 期	8	夏季休業明けLHR	1	服装・頭髪点検、規範意識	(2)ク		○	○		
	9	デザインスクール事前指導	1	目的確認、段取り力、自ら学び取る姿勢	(3)ア	○				◎
	10	後期へ向けて	1	高校生活後半への展望、進路のしおりの活用	(3)エ	○	○			
後期役員選出		1	役員選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎			○		
デザインスクール反省		2	学びを今後に活かす力	(3)ア	○				◎	
後 期	11	体育祭原案審議	1	体育祭審議、協調性、危機管理能力	(2)ク	○			○	
		職業講話	1	自己理解、望ましい勤労観、将来への希望	(3)カ		○	○		○
	12	体育祭練習	2	説明・ルール理解、自主性、協調性と団結力	(2)オ	◎		○		
		進路体験を聞く会	1	進路実現への意識高揚、見通し力	(3)カ		○		○	○
後 期	1	冬季休業明けLHR	1	服装・頭髪点検、規範意識	(2)ク		○	○		
		3送会事前指導	1	心構え指導、感謝・思いやりの心	(2)オ			○		◎
		学年末考查指導	1	学習計画作成、自主性・計画性	(3)カ				◎	
	2	卒業式準備	1	心構え・礼法指導	(2)ウケ			○		○
		求人票の見方	1	進路のしおりに使用	(3)アカ		○		○	◎
	3	進級を前に	2	講話、3年次に向けての強い覚悟、計画性	(3)カ					◎
		1年間の反省	1	自己を見つめなおす力、向上心	(1)イ		○		◎	○
		修学旅行事前指導	4	目的確認、段取り力、協調性	(2)イカ	○			○	

※5つの観点 ◎～特に指導の重点とする観点、○～重視する観点

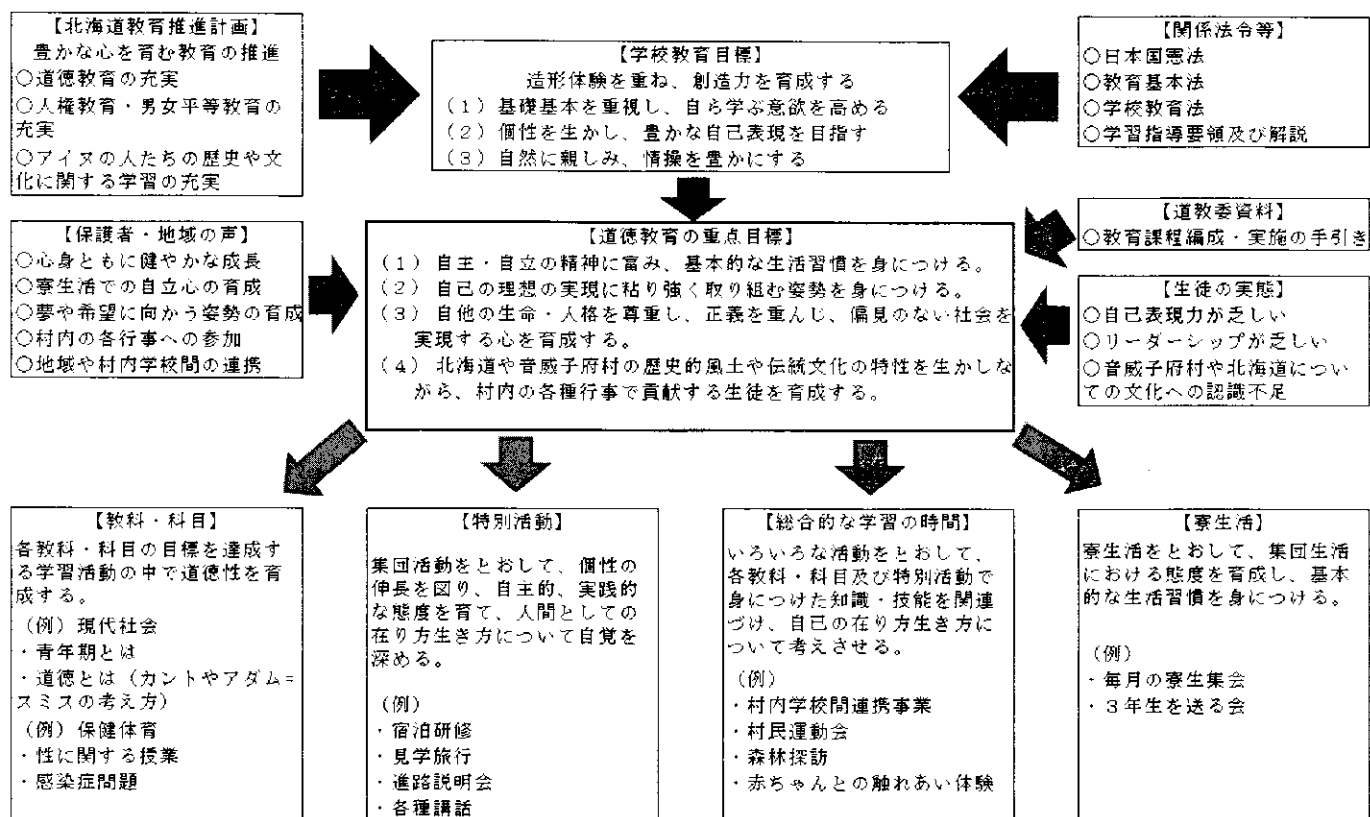
第3学年 ホームルーム活動年間指導計画 担任：吉田 香織 副担任：川崎 さつき

学年		目標		LHR		日 標				
		1. 集団生活の中で、他者を認め、自己を見つめ直し、互いに高め合える関係を作る。 2. 目標を持ち、その実現に向けて自ら行動し・努力し続ける力を育成する。				自他を認め、受け入れ、より良い人間関係を築けるコミュニケーション能力を高める。 互いの夢や目標を尊重し合い、励まし・助け合える関係を構築する。				
学期	月	活 動 内 容	予定 時数	指導方法及び育てたい力	項目	5つの観点				
						A	B	C	D	E
前	4	所信表明、心構え	1	担任講話、計画性や見通しを持って行動する力	(1)ア		○	○		
		前期役員選出	1	役員選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎			○	
		見学旅行事前指導	1	集団行動における自律心、協調性	(2)イウ	○			○	
	5	生徒総会議案書審議	1	議案書審議、自主性と協調性	(1)ウ	○		○	○	
		見学旅行の振り返り	1	グループ発表、プレゼンテーション能力	(3)イ	○			○	
	6	学校祭要項審議	1	学校祭要項審議、自主性と企画力	(1)ウ	○			◎	
		携帯電話マナー教室	1	講師講話、社会性とネットモラル	(2)オ			◎		
		学校祭係活動	1	活気ある学校祭にするための自主性と協調性	(1)ウ	○		○	○	
		出願書類の書き方	1	進路のしおりを使用、計画性・段取り力	(3)カ				○	◎
	7	進路の流れ	1	進路のしおりを使用、自主性・行動力	(3)カ				○	◎
学校祭準備		11	活気ある学校祭にするための自主性と協調性	(1)ウ	○		○	○		
期	8	夏季休業明けLHR	1	服装・頭髪等検査、規範意識	(2)ク		○	○		
		進路学習、面談	1	小論文指導・面接練習、思考力・自己表現力	(3)エ				○	○
	9	進路学習、面談	1	受験指導・面接練習、思考力・自己表現力	(3)エ				○	○
後	10	後期役員選出	1	役員選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎			○	
		国際理解教育指導	1	留学生との交流、コミュニケーション能力	(2)キ			○		○
	11	体育祭原案審議	1	体育祭審議、協調性、危機管理能力	(2)ク	○			○	
		内定・合格後の生活について	1	講話、自立・計画性	(3)カ		○			○
	12	体育祭練習	2	説明・ルール理解、自主性・協調性・団結力	(2)オ	○		○		
		社会人とは	1	講話、責任感・公共心	(3)ア			◎		○
	期	1	冬季休業明けLHR	1	服装・頭髪等検査、規範意識	(2)ク		○	○	
家庭学習前指導			1	説明、自己管理能力	(2)ウ			○		○
2		卒業式準備	1	説明、社会規範意識	(2)ウク			○		○
3										

※5つの観点 ◎～特に指導の重点とする観点、○～重視する観点

道徳教育 全体計画

1 道徳教育の重点目標（模式図）



2 実施内容及び年間計画

学期	実施月	実施内容	教育課程上の位置づけ	実施学年
前期	4	新入生オリエンテーション	総合的な学習の時間	1
		対面式	学校行事	全
	5	宿泊研修事前準備	LHR	1
		森林探訪	総合的な学習の時間	2
	6	宿泊研修	学校行事	1
		クリーンおといねっぶ	総合的な学習の時間	全
	7	美術進路説明会	総合的な学習の時間	1・2
		交通安全・薬物乱用防止講話	特別活動（学校行事）	全
	8	村民運動会	総合的な学習の時間	全
学校祭準備		特別活動（学校行事）	全	
9	学校間連携事業	総合的な学習の時間	全	
後期	10	デザインスクール	総合的な学習の時間	2
	11	国際理解教育報告会	総合的な学習の時間	全
		留学生交流会・お別れ会	LHR	全
	1	職業講話	総合的な学習の時間	1・2
		赤ちゃん触れあい体験	総合的な学習の時間	3
	2	3年生を送る会	学校行事（寮生会活動）	全
	2	性教育講話	総合的な学習の時間	2
2	卒業式予行	学校行事	全	
-	-	寮生集会（随時）	学校行事（寮生会活動）	全

高大連携教育計画

1 目 標

高大連携教育を通して教育の内容を充実させ、美術工芸教育の深化を図るとともに、大学教員との専門的研修を推進し教科指導力の向上を図る。

2 今年度の重点事項

- (1) 生徒の学習意欲・進路意識の向上を推進する。
- (2) 教育課程に位置付け、内容を充実させる。
- (3) 将来、専門分野で活躍する人材の育成を推進する。
- (4) 達成状況を段階的に評価・把握した上で、次の目標の設定をする。
- (5) 連携を教職員の研修と位置付け、資質の向上を推進する。

3 課題解決の方策

- (1) 日常の学習形態と異なる大学の専門教育を受講させる。
- (2) 年度初めの段階で計画を立て、各科目の実施内容と関連させた内容で実施する。
- (3) 大学での体験をとおして進路意識を高め具体化を推進する。
- (4) 実施ごとに生徒や教員による評価を行い改善を進める。
- (5) 成果をまとめ情報の共有化を推進するとともに、校内研修を行う。

4 業務分担

係	業 務 内 容	担 当
庶 務	実施計画、渉外	教頭、野村
高大連携	高大連携に関わる授業等の計画・連絡調整	教務部…棚橋、川添 工芸科…野村、福澤
研 修	高大連携に関わる研修とまとめ	教務部…川添 工芸科…福澤

5 年間計画 ※ が高大連携

月	内 容
4	教育計画、1年用手工具購入、材料購入計画
5	※高大連携 2学年「木工制作Ⅱ」 ポートフォリオの作り方（東海大学教官による連携授業） ※高大連携 3学年「課題研究」 ポートフォリオ・プレゼンテーションについて（東海大学教官による連携授業）
6	木の手づくり展（旭川）森林探訪（1学年） ※高大連携 1学年「木工制作Ⅰ」 おもちゃ作りの考え方（東海大学教官による連携授業）
7	工芸棟大掃除計画、高総文祭
8	木の手づくり展（札幌）、高文連名寄支部美術展
9	※高大連携大学訪問 2学年『デザインスクール』4日日程（東海大学校舎での連携授業） 名作椅子について（関連：インテリア史） ※高大連携 2学年「木工制作Ⅱ」 デザイン制作とプレゼンテーションの方法（東海大学教官による連携授業）
10	工芸棟大掃除計画、1日体験入学、高文連全道大会
11	村文化祭
12	工芸棟大掃除計画、卒業生作品梱包
1	卒業生作品梱包・発送 卒業制作発表授業（全学年連携授業）
2	
3	学年末工芸棟大掃除計画

6 評価

- (1) 学習意欲・進路意識の向上を推進できたか。
- (2) 連携授業等が教育課程に位置づけできたか。
- (3) 専門性に魅力を感じ、進路意識に変化が見られたか。
- (4) 連携授業等を通して授業内において指導と評価の一体化を推進できたか。
- (5) 連携授業と関連させて教職員の研修を実施できたか。

学校間連携教育計画

1 村内教育推進協議会学校間連携部会の活動目標

この部会は、豊かな心を育むために、幼小中高が連携を取り合って、異校種間の接続を図るとともに、地域の特色を生かし、他者や社会及び、自然・環境と直接的な体験活動の充実と環境教育やふるさと教育への幅広い取組をすすめる。

2 担当者

- ・ 幼稚園 後藤 貴大 (継続)
- ・ 小学校 土崎 健 (継続)
- ・ 中学校 本多 弘 (新規)
- ・ 小学校 芳賀 重紀 (新規) 部会とりまとめ
- ・ 高校 川添 龍一 (新規)

3 活動計画について

(1) 部会

- 5月 8日 (金) 第1回：総会、年間計画の確認
- 6月 18日 (木) 第2回：古紙回収要項の概要決定
- 9月 10日 (木) 第3回：古紙回収反省
- 2月 4日 (木) 第4回：年度末反省、次年度計画作成

(2) 行事

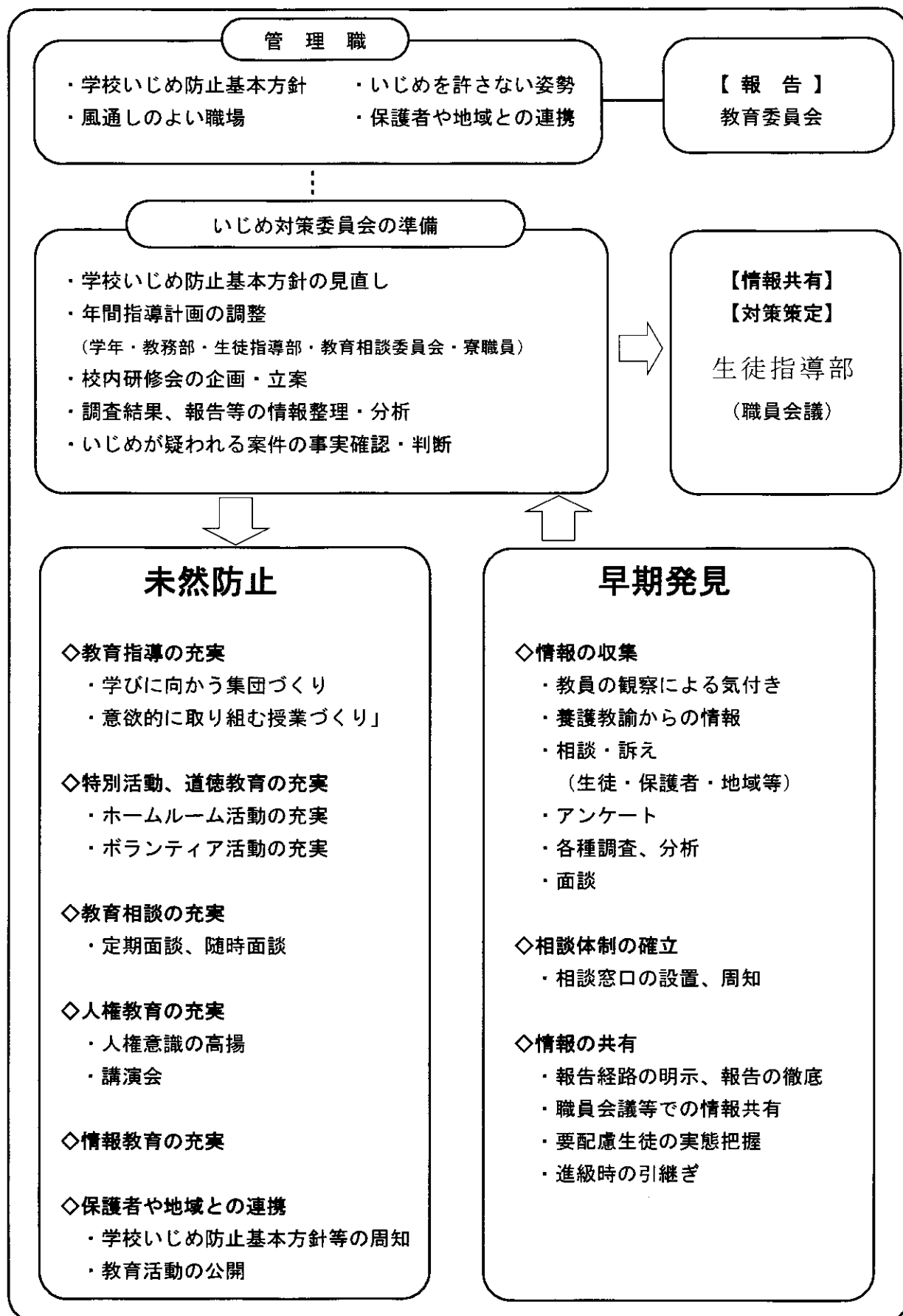
村内古紙回収 8月31日 (月) ※ 予備日を9月11日 (金)

(3) 授業連携

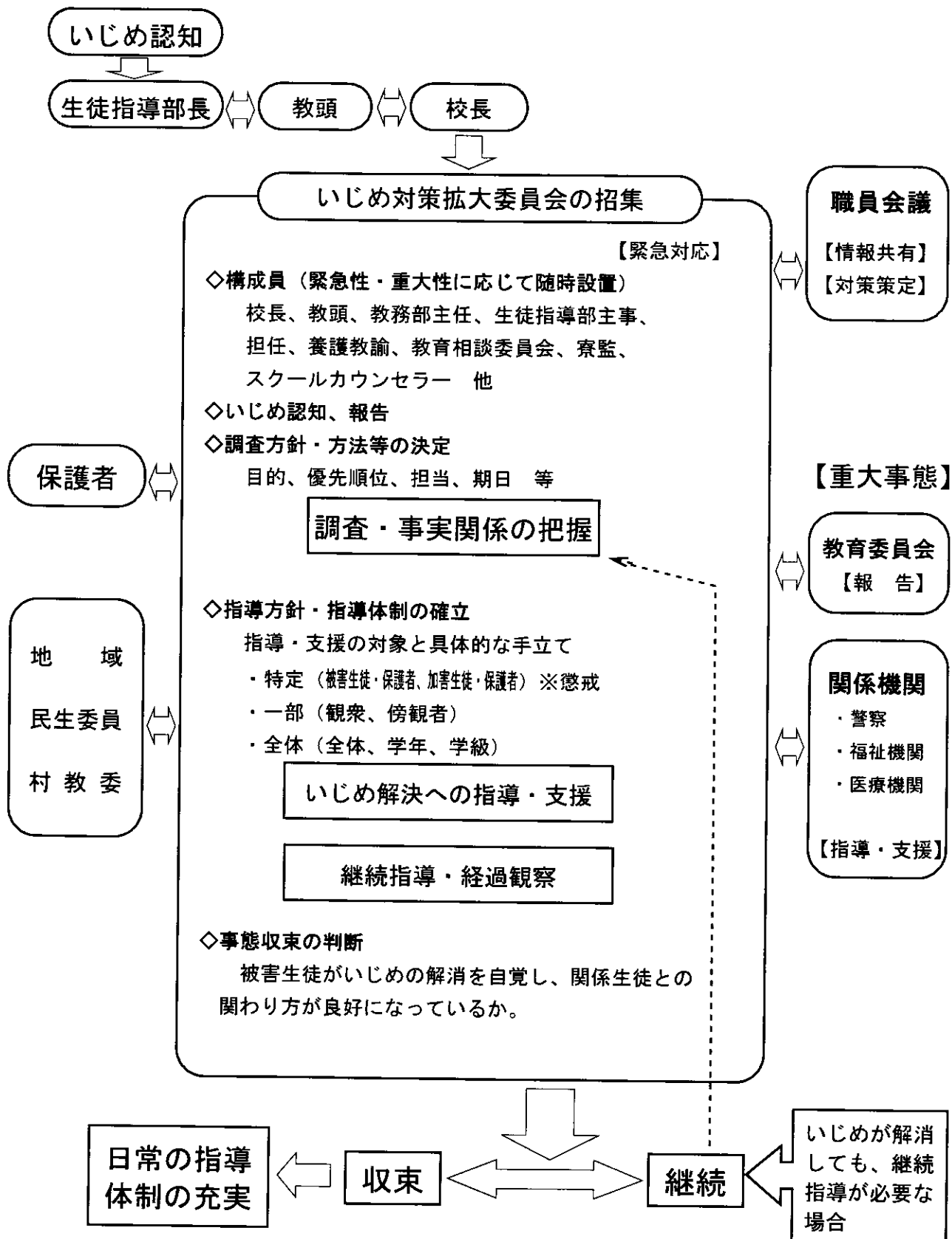
対 象	内 容	時期	関係教員
小 (高学年)・中 (全) 高 (1年：美術 I)	合同写生会	6月	小：土崎 高：大木
幼・高	未定 (年度内検討)	未定	幼：後藤
中 (全)・高	中学全校技術 (年度内検討)	未定	中：本多 高：野村
小 (低・中学年) 高 (2年：工制)	木工作品づくり (前年度をベースに担当者間で調整)	6月	小：土崎 高：野村
小 (低学年)・幼	生活科 (前年度をベースに担当者間で調整)	2月	幼：後藤 小：土崎
小・中 (教員研修)	小中学校の陶芸窯の使用について (小学校教員の希望調査後検討)	未定	高：大木

いじめ対策

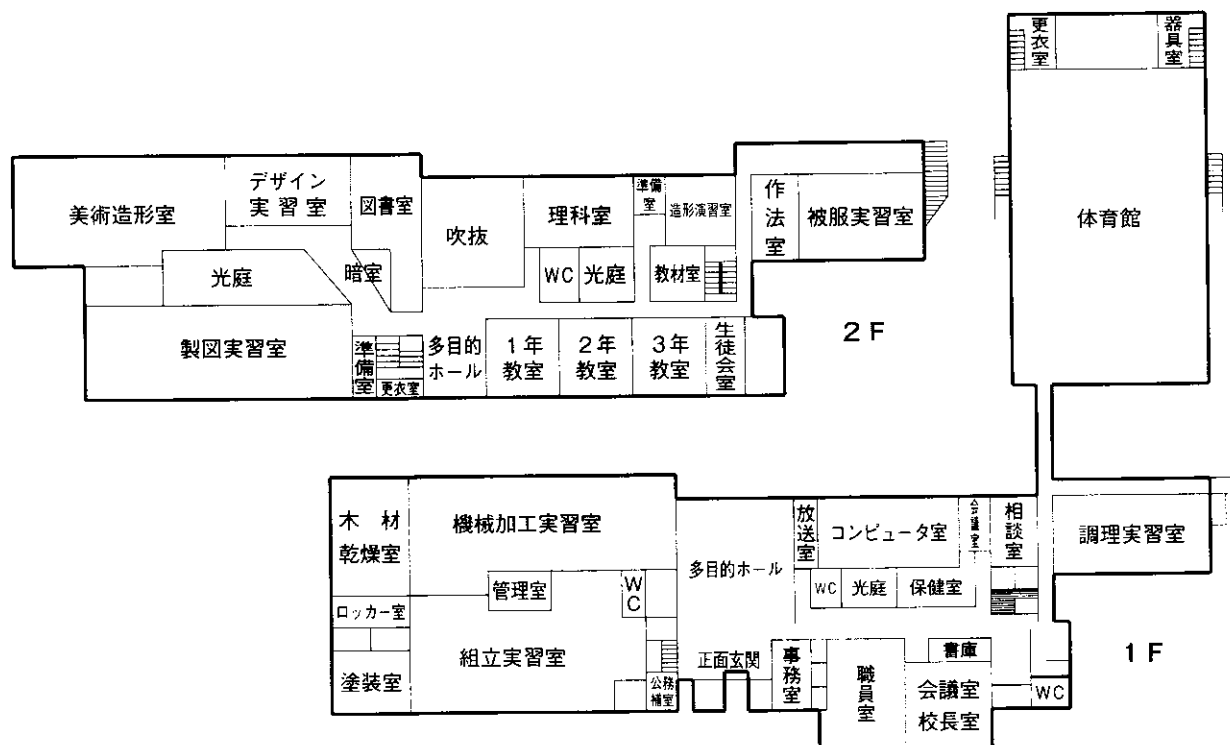
1 日常の指導体制（未然防止・早期発見）



2 重大事態・緊急時の組織対応



校舎平面図



施設設備の概要

1 図書室

分類	000	100	200	300	400	500	600	700	800	900	計
	総記	哲学 宗教	歴史 地誌	社会 科学	自然 科学	工学 工業	産業	芸術 運動	語学	文学	
冊数	272	171	275	221	241	72	16	431	92	1326	3117

2 組立実習室・機械加工実習室

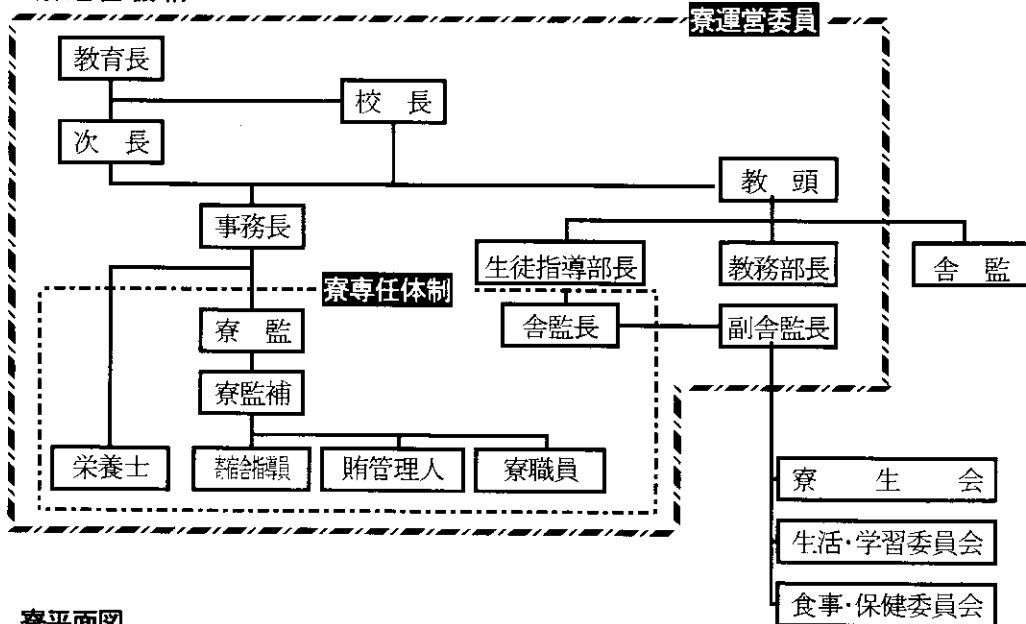
	品目	数量		品目	数量
1	自動一面鉋	1	20	電動鋸	2
2	手押鉋	1	21	ジグソー	2
3	丸鋸昇降盤	1	22	ベルトサンダー	1
4	柄取機	1	23	木工旋盤	2
5	超仕上鉋盤	1	24	ルータ	1
6	研磨機	1	25	チップ	2
7	角のみ機械	2	26	チェーンソー	3
8	糸鋸機	11	27	帯鋸	2
9	プレス	2	28	コーナーロッキングマシン	1
10	電動木彫機	5	29	軸傾斜丸鋸盤	1
11	ハンドルーター	2	30	ジャンピングクロスカットソー	1
12	電気ドリル	2	31	ボーリングマシン	1
13	乾燥機	1	32	丸棒削機	1
14	ボール盤	3	33	トリマー	4
15	コンプレッサ	3	34	補助ローラ	1
16	ジェットヒータ	1	35	レーザー加工機	1
17	サンダー	2	36	スポンジサンダー	1
18	移動式集塵機	3	37	卓上丸鋸盤	1
19	万能糸鋸盤	3	38	スピンドルサンダー	1

チセネシリ寮概要

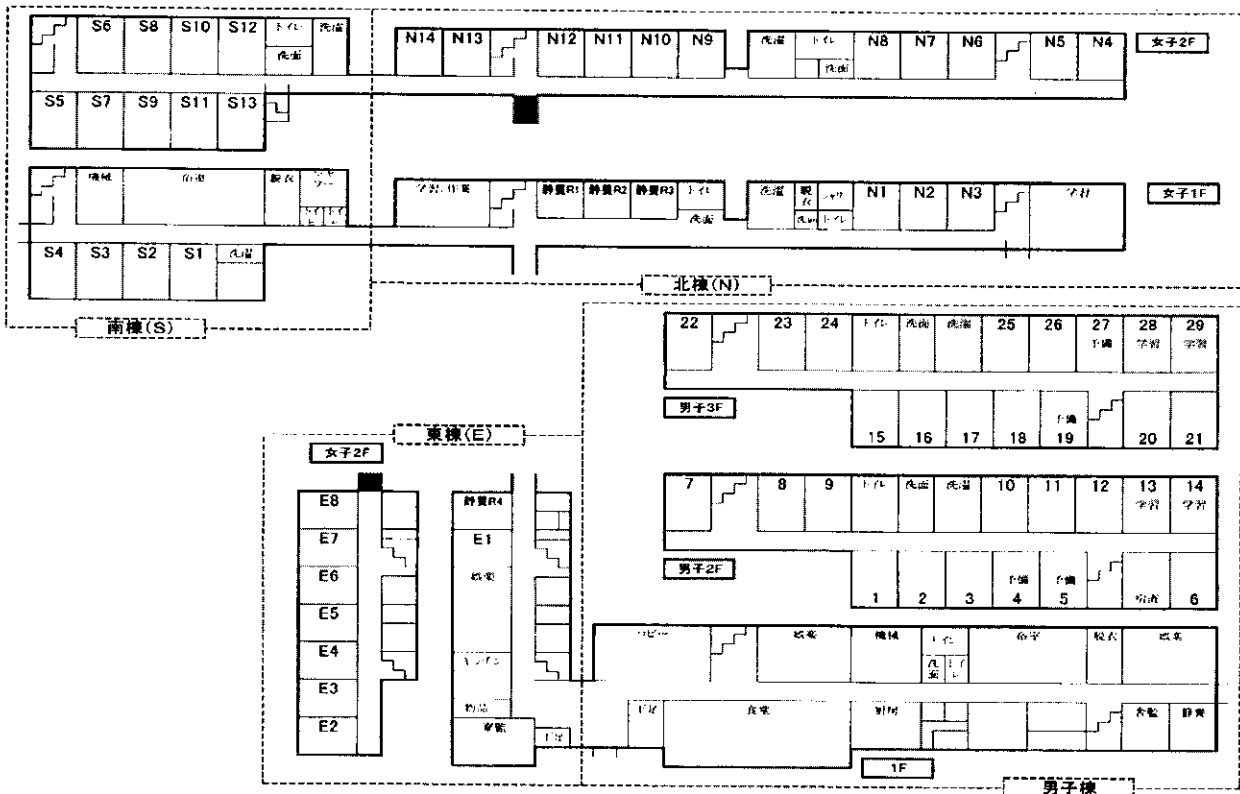
1 寮生数（平成27年4月9日現在）

	1年	2年	3年	合計
男子	14	16	16	46
女子	23	23	20	66
合計	37	39	36	112

2 寮運営機構



3 寮平面図



竣工 昭和55年11月30日
 平成4年3月31日一部増築
 平成14年8月18日女子寮増築
 平成26年3月28日女子寮一部増築

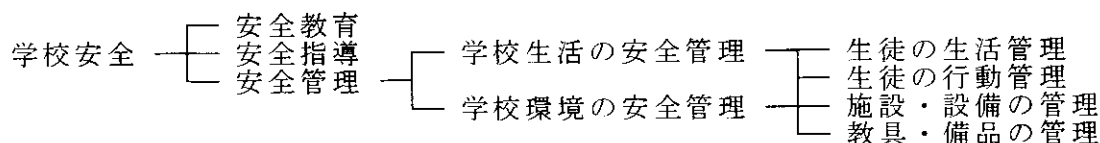
昭和63年11月30日一部増築
 平成13年8月17日改修工事
 平成22年3月31日女子寮増築

定員 男子116名、女子113名、合計229名

安全計画と安全管理

1 目的

学校における保健及び安全教育、安全指導、安全管理に関する計画を立て、生徒及び職員員の保健保持推進を図り、学校教育の円滑な実施とその効果の保持に努める。

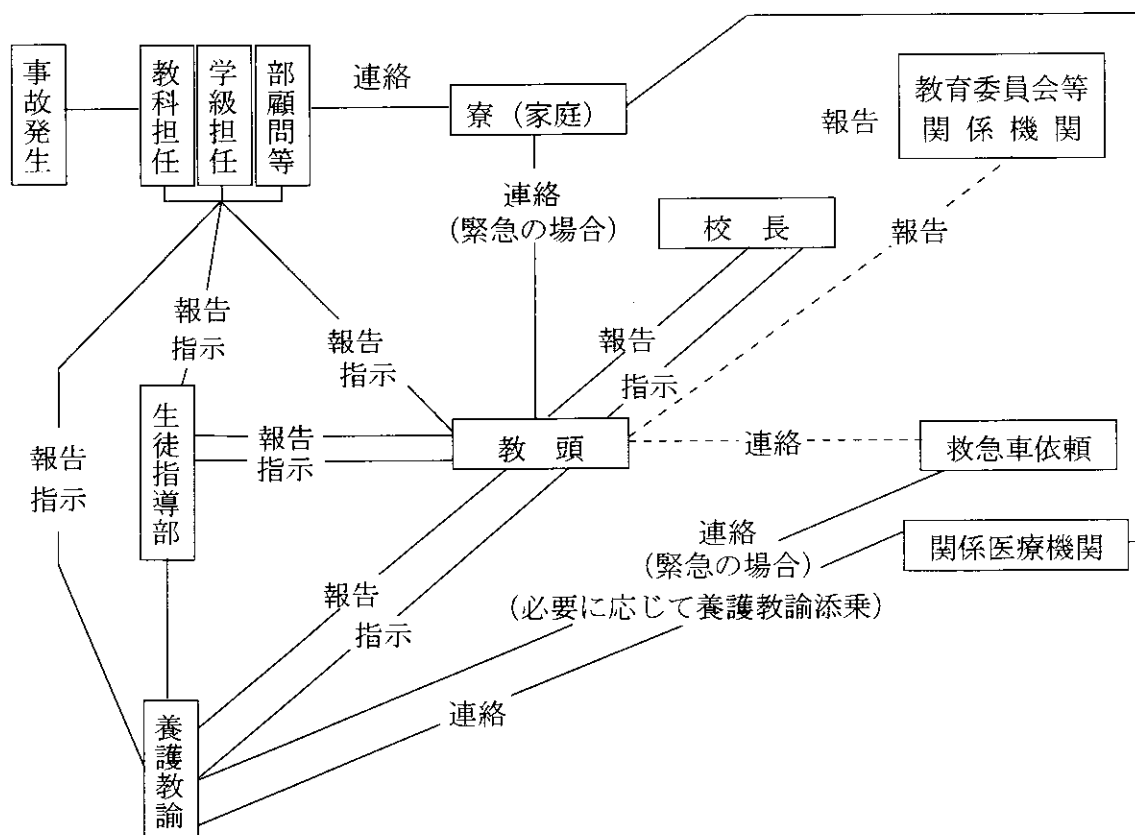


2 学校保健委員会組織

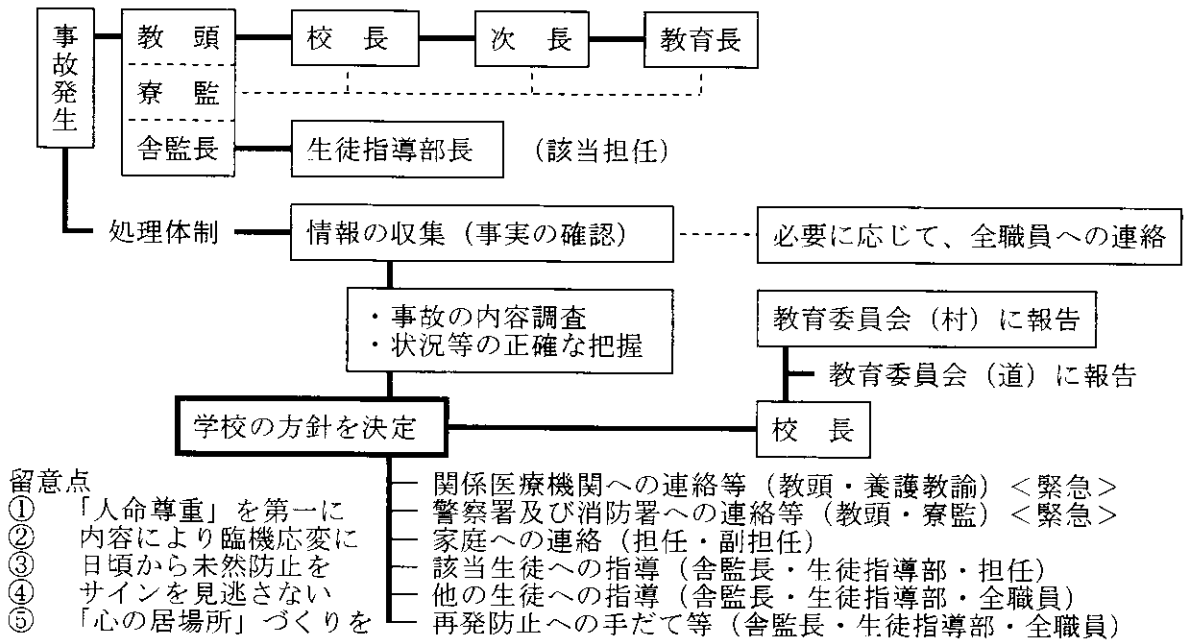
委員長	校長	長	(小幡圭二)	事務長	(山崎彰俊)
委員	教頭	長	(西後勝美)	教務部長	(川添龍一)
	生徒指導部長		(大木民朗)		
	保健主事		(棚橋栄治)		※保健体育教諭
	養護主事		(南波李佳)		
	学級担任		(池田教朗)		・碓矢真由・吉田香織
	学校医		(三好義範)		
	学校歯科医		(松尾徹也)		
	P T A 会長		(志村正美)		

3 事故発生時の処理経路（緊急時）

(1) 学校内



(2) 寮内



4 安全計画の内容

- (1) 安全管理に関する事項
 - ① 月間1回の安全点検日の設定と実施
 - ② 施設、設備の安全点検
 - ③ 各教科、学校行事、部活動、休憩時間、その他の学校生活における安全指導
 - ④ 防火、防災に関する事項 (防災組織、避難場所、経路の点検、防災設備の点検等)
 - ⑤ その他必要な事項
- (2) 安全教育に関する事項
 - ① 学級指導、ホームルームの安全指導
 - ② 交通安全講習会
 - ③ 薬物に関する指導
 - ④ 個別指導
- (3) 組織活動に関する事項
 - ① 保健委員会の活動
 - ② 消防署、警察署等との連携
 - ③ 家庭、PTA等との連携

5 安全点検について

校舎内外の安全点検は毎日の生活のなかで配慮し、改善すべき箇所などは速やかに処理を行い、安全環境を常に成立させるため、各自留意すること、尚、安全点検日 (月1回) は事故を未然に防ぐための実質的な点検であり、安全な学校環境を作るための点検日である。

6 教科教育の安全について

- (1) 工芸科教育
 - ① 実習室は明るく保ち、整理整頓に努め、道具や用具、機械の使用法を確実に理解させ、実習中は絶えず巡視指導を行う。
 - ② 大型工作機械の使用については免許制とし、電動機械類の使用は特に厳重に監督する。
 - ③ 弱視、色弱、難聴、虚弱、精神的発育遅滞等の心身の障害のある生徒に対しては、その程度に応じて工作機械等の使用について適切な指導を行う。
 - ④ 特に、部活動等の教科外に工作機械を生徒に使用させる場合に事故発生が多いので、担当教員の立ち会いがない場合は工作機械等の使用を許可しない。
 - ⑤ 次に掲げる作業は生徒には行わせないこととする。
 - 工作機械の刃物の取り替え、及び試運転に関する作業
 - 工作機械等の点検、検査等の作業
- (2) 理科教育及び家庭科実習教育
 - ① 実習台の整理整頓に留意し、事故防止に努める。

- ② 火気取り扱いの際、引火、不完全燃焼、やけど等に留意する。
- ③ 特に、薬品の取り扱いについて、以下の点に留意すること。
 - 安全な場所に鍵をかけて保管する。
 - 薬品の性質にあわせた保管を行う。
 - 薬品の性質、使用目的、使用方法について十分に指導した上で生徒に使用させる。
 - 実習後、残った薬品や廃液等の処理について適切な指導を行う。

- (3) 保健体育教育内容を良く理解させ、安全の確保と事故防止の指導を徹底する。
- ① 指導する内容及び整理を十分に行う。
 - ② 生徒の体力、性格を把握するとともに、理解、認識しておく。
 - ③ 授業導入の際、生徒の健康状態、コンディションに留意する。
 - ④ 使用運動器具などは事前に十分な点検と整備の上、使用させる。
 - ⑤ 気象条件等により授業方法、量などを適切に配慮して実施する。
 - ⑥ 生徒の発達段階や技能の差を考慮する。
 - ⑦ 傷害の起こりやすい運動種目には特に注意する。また、事故頻発者（頻発受傷者）に特に注意する。
 - ⑧ ルールを遵守させる。

7 防火防災安全教育について

- (1) 防火施設の管理査察（毎月第1月曜日 安全点検日と合わせて実施）
- (2) 危険物の管理（全職員）
- (3) 避難訓練（年2回 6月、10月）
 - 生徒が学校内において突発的に起こった災害から、生命の安全を図るために速やかに危険地帯から避難するための安全訓練である。
 - ① 実際の災害発生時に安全に避難でき、身を守る能力を身につけさせる。
 - ② 災害に対処する安全体制を平素より認識させる。
 - ③ 集団行動をおし、互いに協力しあう態度を養う。
 - ④ 災害防止の重要性を理解させる。

8 自衛消防規定

第一章 総則

- 第1条 非常事態発生に際し、生徒の安全を期し、学校の被害を最小限に防止し、その処理に万全を期するものとする。
- 第2条 非常事態発生時は次のとおりとする。
- 1 校舎付近より火災が発生したとき
 - 2 校舎付近より火災が発生したとき
 - 3 落雷、地震、洪水等、若しくはこれらが予測される時

第二章 組織および任務

- 第3条 本要領を実施するため、次の班を置く。（別表 自衛防災組織表参照）
- 第4条 火災に発生する場合は、発見者は全体に通報、消防署に連絡の措置をとる。
- 第5条 職員は非常事態に際し、速やかに本規定の示すところに従い、適切な処理をとり得るよう平素留意しなければならない。
- 第6条 職員が校外にあって学校の非常災害を知った時は、直ちに登校し、部署につかなければならない。
- 第7条 校外にある職員の通報は、学校長を先とし、学校に近い職員で、かつ短時間に連絡しうる順に行う。
- 第8条 本部から災害通報が発せられた時、直ちに避難し、次の指示で部署につき行動する。
- 第9条 避難場所は、生徒の安全のため村道十字路神社側とする。
- 第10条 避難集場所における生徒は避難誘導班教師の指導に従い、許可なく集合同場所を離れない。
- 第11条 各班の責任者は、任務遂行が生徒に危害を及ぼすと判断した時は、直ちに作業を中止し生徒の安全を期さなければならない。
- 第12条 非常事態終了後、生徒の異常有無を確認してから帰宅させる。

第三章 訓練

- 第13条 本要領の機能を円滑にするため、組織分担表に基づき必要に応じて訓練を行う。（年間2回以上）
- 第14条 警報は「非常事態通報」として次のとおりとする。
「非常事態通報」は発生場所を連呼する。

9 自衛防災組織表

本部長 (校長) 副本部長 (教頭) (事務長) 防火管理者 (教頭)	指揮・通報連絡係 (◎教頭・山崎・横山) ○日常防災点検 ○避難訓練実施計画 ○火災時の警報受理 ○避難、消火、搬出命令 ○消防署、警察署への連絡
	避難誘導係 (◎吉田・碓矢・池田) ○非常口の開放 ○避難者の誘導 ○避難者の確認、本部への連絡
	搬出係 (◎辻本・野村) ○重要物品の搬出 (校長室・職員室・事務室)
	初期消火係 (◎棚橋・川添・土井) ○消火栓 ○消火器 ○防火扉閉鎖
	救護係 (◎南波・押見・川崎) ○救護用品の携行 ○負傷者の応急処置 ○病院との連絡
	警備係 (◎大木・林・澤口) ○校舎内外の警備
	査察班 (◎教頭・全職員) ○火気使用状況 ○危険物の管理 ○防火施設設備の管理

10 各室管理責任者一覧 (火気管理責任者)

	室名	責任者		室名	責任者
1	校長室	山崎彰俊	21	教材室	林一浩
2	職員室・書庫	西後勝美	22	造形演習室	大木民郎
3	事務室・印刷室	山崎彰俊	23	1年生教室	池田教朗
4	湯沸室	山崎彰俊	24	2年生教室	碓矢真由
5	職員ロッカー室	山崎彰俊	25	3年生教室	吉田香織
6	多目的ホール	川崎さつき	26	生徒会室	土井佑弥
7	公務補室・ボイラー室	辻本博美	27	体育館・教官室	棚橋栄治
8	放送室・コンピュータ室	池田教朗	28	女子更衣室	押見栞奈
9	小会議室	土井佑弥	29	機械加工実習室	野村幸伸
10	相談室	福澤等	30	材料庫	押見栞奈
11	保健室	南波李佳	31	工芸準備室	野村幸伸
12	物置・ダストプール	辻本博美	32	組立実習室	野村幸伸
13	図書室	碓矢真由	33	塗装室	澤口弘樹
14	美術造形室	福澤等	33	塗料庫	澤口弘樹
15	デザイン実習室	福澤等	35	塗装乾燥室	澤口弘樹
16	製図実習室・準備室	押見栞奈	36	男子更衣室	棚橋栄治
17	暗室	土井佑弥	37	職員・生徒玄関	辻本博美
18	理科室・準備室	林一浩			
19	調理室	林一浩			
20	被服室	大木民郎			



平成 27 年度 年間行事計画表

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜
1	水	1	金	1	月	1	水	1	土	1	火
2	木	2	土	2	火	2	木	2	日	2	水
3	金	3	日	3	水	3	金	3	月	3	木
4	土	4	月	4	木	4	土	4	火	4	金
5	日	5	火	5	金	5	日	5	水	5	土
6	月	6	水	6	土	6	月	6	木	6	日
7	火	7	木	7	日	7	火	7	金	7	月
8	水	8	金	8	月	8	水	8	土	8	火
9	木	9	土	9	火	9	木	9	日	9	水
10	金	10	日	10	水	10	金	10	月	10	木
11	土	11	月	11	木	11	土	11	火	11	金
12	日	12	火	12	金	12	日	12	水	12	土
13	月	13	水	13	土	13	月	13	木	13	日
14	火	14	木	14	日	14	火	14	金	14	月
15	水	15	金	15	月	15	水	15	土	15	火
16	木	16	土	16	火	16	木	16	日	16	水
17	金	17	日	17	水	17	金	17	月	17	木
18	土	18	月	18	木	18	土	18	火	18	金
19	日	19	火	19	金	19	日	19	水	19	土
20	月	20	水	20	土	20	月	20	木	20	日
21	火	21	木	21	日	21	火	21	金	21	月
22	水	22	金	22	月	22	水	22	土	22	火
23	木	23	土	23	火	23	木	23	日	23	水
24	金	24	日	24	水	24	金	24	月	24	木
25	土	25	月	25	木	25	土	25	火	25	金
26	日	26	火	26	金	26	日	26	水	26	土
27	月	27	水	27	土	27	月	27	木	27	日
28	火	28	木	28	日	28	火	28	金	28	月
29	水	29	金	29	月	29	水	29	土	29	火
30	木	30	土	30	火	30	木	30	日	30	水
		31	日			31	金	31	月		
高文連文化学理委員会 紅羽卒業報告 新入生の情報交換会		教育推進協議会 総会 公務員検定		生徒検定(学校別) 高文連企画委員会 高文連文化学理委員会 電通訓練 携帯電話マナー教室 情報科(2学年) 学校評議員会		振替利用防止・交通安全・防犯講座 学校総務部開期 資格更新(検定) 学校教育協議会(1次) 付 八幡沖校 工芸大開校		木のぞく(札幌・北海道庁1階) 道庁利用開始(2学年) 付 朝来成園 中学校訪問		第1回職員会議 中間反省会 (学年・分科・教務・委員会等) 札幌出張研修(8月2日～) 札幌出張研修(8月2日～) 札幌出張研修(8月2日～) 中学校訪問	

北海道おといねっぷ美術工芸高等学校

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜
1	木	1	日	1	火	1	金	1	月	1	火
	国際地理教育6		(休日)		防災安全点検日		冬休業日13		防災安全点検日 3年卒業学習期間		勇気四季賞証書授与式
2	金	2	月	2	水	2	(休日)	2	火	2	木
	前期終業式 国際地理教育7 工芸祭会 (休日)		防災安全点検日				冬休業日14		技術講習会		防災安全点検日 入試準備講習
3	土	3	火	3	木	3	(休日)	3	水	3	金
	国際地理教育8 (休日)		文化の日				冬休業日15				入学者選抜(一般・学力)
4	日	4	水	4	金	4	月	4	木	4	土
	国際地理教育9 (休日)				工芸祭会		冬休業日16		卒業全盛		入学者選抜(一般・面接) 工芸祭会
5	月	5	木	5	(休日)	5	火	5	金	5	日
	国際地理教育10 冬休業日1		地区別懇話会(春)		(休日)		冬休業日17		卒業提出日 工芸祭会		(休日)
6	火	6	金	6	日	6	水	6	土	6	月
	国際地理教育11 冬休業日2		工芸祭会		(休日)		冬休業日18		(休日)		(休日)
7	水	7	土	7	月	7	木	7	日	7	火
	国際地理教育12 冬休業日3		(休日)		卒業提出日		冬休業日19		(休日)		[予定]入学者選抜(保命日)
8	木	8	日	8	火	8	金	8	月	8	水
	冬休業日4		(休日)		地区別懇話会(春)		冬休業日20		一覧表提出日		技術講習会
9	金	9	月	9	水	9	(休日)	9	火	9	木
	冬休業日5 (休日)				一覧表提出日		冬休業日21				卒業提出日
10	土	10	火	10	木	10	日	10	水	10	金
	(休日)						(休日)				卒業全盛
11	日	11	水	11	金	11	月	11	木	11	土
	(休日)				成績発表 工芸祭会		冬休業日22		建人の日		一覧表提出日 工芸祭会
12	月	12	木	12	土	12	火	12	金	12	日
	体育の日 授業日				(休日)		冬休業日24		入学者選抜(推薦) 工芸祭会		国全一決勝(1・2年) (休日)
13	火	13	金	13	日	13	水	13	土	13	月
	前期終業式		工芸祭会		(休日)		冬休業日25		(休日)		(休日)
14	水	14	土	14	月	14	木	14	火	14	水
	真文達全盛		(休日) 寒期				冬休業日26		全校発表 防災安全点検日		
15	木	15	日	15	火	15	金	15	月	15	火
	真文達全盛		(休日)		技術講習会		冬休業日27				
16	金	16	月	16	水	16	土	16	日	16	月
	真文達全盛 漢字検定 工芸祭会 (休日)				(休日)		大入試センター試験 (休日)				合格発表
17	土	17	火	17	木	17	日	17	水	17	木
	観音のついでに(2年)		技術講習会		卒業全盛		大入試センター試験 (休日)				
18	日	18	水	18	金	18	月	18	木	18	金
	(休日)				工芸祭会		冬休業日28		学年末考査		進路決定全盛 工芸祭会
19	月	19	木	19	土	19	火	19	金	19	土
			卒業全盛		(休日)		技術講習会		学年末考査 年度末反省全盛 工芸祭会		(休日)
20	火	20	金	20	日	20	水	20	土	20	日
			工芸祭会		(休日)				(休日)		妻の日
21	水	21	土	21	月	21	木	21	火	21	水
			(休日)				卒業全盛		(休日)		祝祭日
22	木	22	日	22	火	22	金	22	月	22	火
	技術講習会		(休日)				就職決定 工芸祭会		学年末考査		
23	金	23	月	23	水	23	土	23	日	23	月
	工芸祭会		朝野感謝の日		天皇誕生日		(休日)				
24	土	24	火	24	木	24	日	24	水	24	木
	一日休職入学				全校発表 工芸祭会・地区大掃除		(休日)				終了式 工芸祭会・地区大掃除
25	日	25	水	25	金	25	月	25	木	25	金
	(休日)				冬休業日6 開催 道庁学校の情報交換会 (休日)		全国大会壮行会				年度末発表1 開催(1・2年)
26	月	26	木	26	土	26	火	26	金	26	土
	振替休日		後期中間考査		(休日)		冬休業日7		工芸祭会		(休日) 年度末発表2
27	火	27	金	27	日	27	水	27	土	27	日
	卒業全盛		(休日)		工芸祭会		冬休業日8		(休日)		(休日) 年度末発表3
28	水	28	土	28	月	28	木	28	火	28	水
			(休日)				冬休業日9		(休日)		年度末発表4 道七学校の情報交換会
29	木	29	日	29	火	29	金	29	月	29	火
	避難訓練		(休日)		冬休業日10		(休日)		卒業式予行 PTA除夜慰問会		年度末発表5
30	金	30	月	30	水	30	土	30	日	30	月
	工芸祭会		後期中間考査		冬休業日11		(休日)				年度末発表6
31	土	31	火	31	木	31	日	31	水	31	木
	(休日)				冬休業日12		(休日)				年度末発表7
学年末全盛 工芸祭大掃除		教育推進協議会 協議会 国際地理教育博覧会 U-18(体育祭)開催 学校教育協議会(2次) 村 村長文化祭 教育推進協議会 協議会 進路説明会(1・2学年)		体育祭編成 真文達全盛道庁専門委員会 体育祭 村 全日本JOCスカウトリースキー大会 卒業生の道庁体験を聞く会(2学年)		学年末進路博覧会(卒業制作発表) おしゃべりのあそび体験(2学年) 卒業生の進路体験を聞く会(1学年)		卒業認定全盛 性教育講話(2学年) 学校評議員会 年度末反省全盛 (学年・分組・教科・委員会)		道七学校の情報交換会 全校スキー	



